

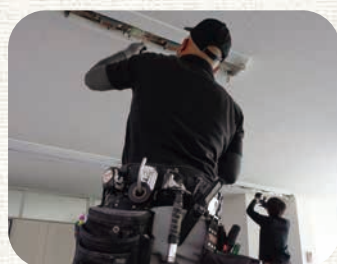
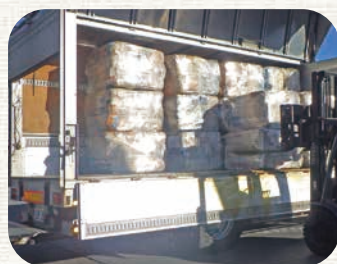
エコアクション21 環境経営レポート

第56期

(2022年10月～2023年9月)

発行日 2023年10月30日

株式会社 カンサイ



認証番号0004647

ご挨拶	2
01. 会社概要・沿革等	3
02. 環境方針等	4
03. 推進体制並びに責任と権限	
(1) 推進体制	5
(2) 責任と権限	5
04. カンサイにおけるSDGs	6
05. 環境負荷の実績と考察52期～56期	
(1) 実績	7
(2) 考察	8
06. 56期の環境活動計画と中期目標	
(1) 56期の環境活動計画	9
(2) 中期環境目標	10
07. 56期各部署取り組みと実績・評価(環境負荷低減)	11～22
08. 56期各部署取り組みと実績・評価(環境改善)	23～25
09. 56期各部署取り組み(コミュニケーション)	26～27
10. 56期の取り組み(教育)	28～31
11. 56期の取り組み(安全衛生)	32～33
12. 情報公開	34～40
13. リサイクル製品	41
14. 57期の活動計画	42
15. 第三者意見	43
16. 代表者による全体評価と見直しの結果	44
17. 編集後記	44

原点

株式会社カンサイは、1968年の創業以来「人と人との調和 人と自然との調和を大切に」という考えのもと、廃棄物処理業・リサイクル業を追求してきました。

また、2013年4月、企業理念として、

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、
併せて人類と自然との調和を大切にする

を制定しました。これは株式会社カンサイの企業活動の原点であり、判断や行動の拠り所になるものです。目先の利益にとらわれるのではなく、全社員が人として何が正しいのかを基準に考え行動し続けることにより、安心・安全なサービスを提供できると考えています。

創意工夫

株式会社カンサイは、「廃棄物処理」を起点に事業を拡大してきました。また自然環境の保全、資源の有効利用を推進する循環型社会基本法、個別物品に応じたリサイクル関連法が制定されました。さらに最近では脱炭素化に向けた動きもさかんです。そうした社会背景から、当社に廃棄物処理をご依頼くださるお客様のニーズも多様化しています。車両の更新、廃棄物処理施設・リサイクル施設の高度化は元より、ニーズにお応えするための技術革新、そして進化をもたらす人材育成に努め、社会からの期待に応え、さらなる成長をめざしていきます。

調和

株式会社カンサイは、「人・社会・環境」との調和を図ることで、社会から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。工場見学者の受入、情報開示、地域交流や協賛を長期に渡って取り組んでまいりました。

また、社会貢献活動の一環として、平成17年に循環型農園「きなり村」を開設いたしました。食に対する関心が高まっている中、当社のリサイクル製品である肥料を使用し、化学肥料や農薬を使用しない有機農法によって作物を栽培し、都市部へ循環させるという取り組みを行っています。

これからも「人と自然との調和を大切に」し、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

株式会社 カンサイ
代表取締役

川本 義二



会社概要

対象範囲（本社・倉橋工場）

会社概要

会 社 名	株式会社カンサイ
所 在 地	広島県広島市佐伯区五日市町大字石内460番地 TEL：(082) 941-1641 FAX：(082) 941-1715
代 表 者	代表取締役 川本 義二
環境管理責任者	取締役 北川 貴伸
従業員数	40名
敷地面積	13,838m ²
資本金	18.4百万円
中間処理量	第56期 11,289 t
収集運搬量	第56期 4,430 t
売上高	第56期 740百万円
U R L	https://ekansai.co.jp
事業内容	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬処理 建設土木工事 リサイクル業 環境衛生プラントのメンテナンス 環境計量証明事業 肥料製造業 上下水道の調査



沿革

1968年2月
関西特殊産業として産業廃棄物処理を目的に設立
1972年9月
産業廃棄物の収集運搬処理の許可を取得
1979年7月
ロータリーキルン式焼却炉を設置
1979年10月
污泥肥料生産 肥料生産販売業届出
1982年4月
環境計量室を新設
1985年12月
倉橋工場を新設 肥料の生産

1991年10月
回転炉床式焼却炉を設置
1998年10月
株式会社カンサイに社名変更
2010年2月
エコアクション21認証取得
2014年7月
広島県特別管理廃棄物収集運搬業許可の優良認定
2014年10月
川本義二社長就任
2015年10月
回転炉床式焼却炉にバグフィルターの設置

社 是

人と人との調和
人と自然との調和を大切に

企業理念

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに
併せて人類と自然（全人類 大自然）との調和を大切にする

環境方針

「人と自然との調和を大切に」

私たちは、人と自然との調和を大切にし、地域社会と利害関係者とのふれ合いを図り、技術と知恵と勇気を持って環境問題に積極的に取り組み、広く社会に貢献できる企業を目指します。

行動指針

私たちは省エネ・省資源をはじめ、地球環境の保全と、資源の有効利用に弛まない努力と創意工夫を行い地域社会の一員として健全なる社会の発展に貢献いたします。

基本方針

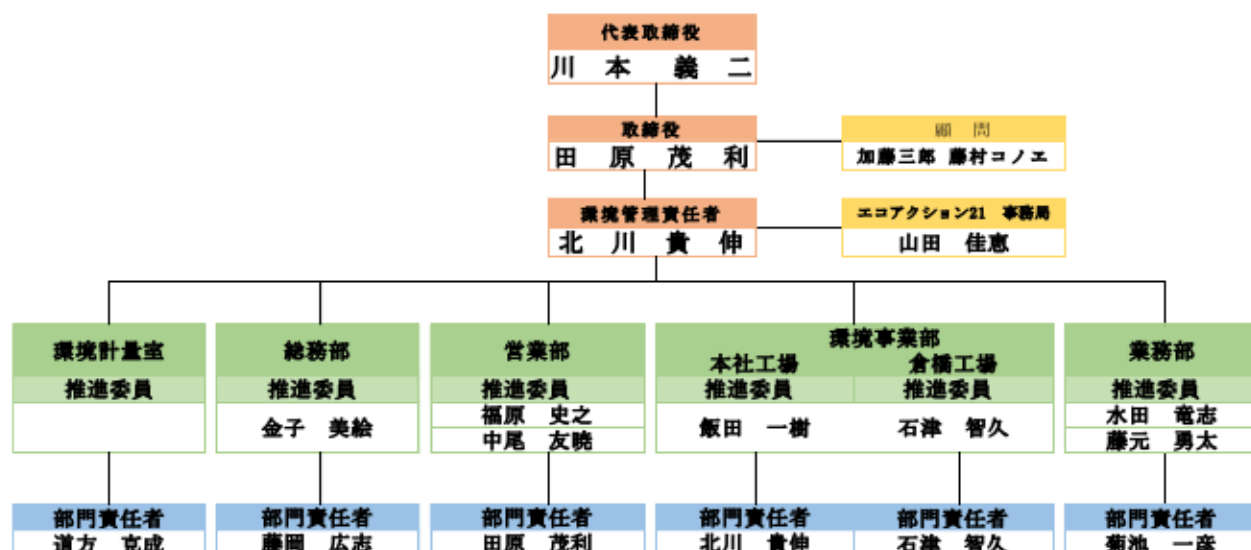
1. 資源の節約と再利用を促進し、環境と資源の保全に努めます。
 - CO₂排出量の低減や森林資源の保護、バイオマス利活用によるCO₂吸収、エネルギーの有効活用等に寄与します。
 - 廃棄物の削減、資源化率の向上を推進いたします。
 - 資源循環の技術開発を積極的に推進いたします。
2. 事業に関連する全ての法律を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムの効率的な運用を行い、環境負荷の低減に努めます。
4. 情報はホームページ、電子掲示板、ポスター等により、全ての関係者に広く公開いたします。

制定 2009年10月1日
改訂 2014年 3月1日

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

(1) 推進体制



当社はエコアクション21推進委員会を中心とした体制で、環境対応に取り組んでいます。

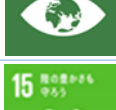
(2) 責任と権限

責任及び権限	
統括 (代表取締役)	①環境方針の策定と全従業員への周知 ②環境管理責任者の任命 ③運用に必要な人材、設備、時間の準備 ④全体の取り組み状況の評価、見直し
環境管理責任者	①環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ②環境力道場の開催
エコアクション21 推進責任者	①エコアクション21事務局の総括 ②一般教育の計画、実施 ③環境力道場の運営
エコアクション21 事務局	①環境データの集計、取りまとめ ②環境関連文書及び記録の管理 ③外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応
推進委員	①各部門における環境活動の管理 ②環境活動の実績の把握と事務局への報告
部門責任者	①自部門の環境活動の責任 ②実務教育・訓練（専門教育）の計画、実施
全従業員	①環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加



SDGs (Sustainable Development Goals) とはほとんど全ての国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17項目の持続可能な開発目標です。SDGsは先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標で構成されていることが特徴です。

カンサイは、産業廃棄物の処理とリサイクルを担ってきたことで、持続可能な開発に長年貢献をしてきました。これからも様々な活動を通じてSDGsに取り組んでいきます。

	SDGs目標	カンサイの取り組みと掲載ページ
	質の高い教育をみんなに	環境力道場で知識を知恵に変え実働にいかすなど各種の研修を通して、会社の宝である社員の意識向上を図る・・・P 28,29,P30
	ジェンダー平等を実現しよう	全社員がセクハラ・パワハラの研修を受け撲滅に努めている・・・P 30
	安全な水とトイレを世界中に	自社工場で使用する水の節水に努める他自治体の上下水処理場清掃での水資源管理に貢献・・・P 13,14
	働きがいも経済成長も	社内報や家族会開催で家族的経営を目指す・・・P26
	住み続けられるまちづくりを	清掃活動を通して地域貢献・・・P 26
	つくる責任 つかう責任	リサイクル肥料製造と販売で環境にやさしい肥料の提供 グリーン購入で環境配慮商品の購入管理・・・P 19,41
	気候変動に具体的な対策を	化石燃料使用量を削減しCO ₂ 排出量を抑制する・・・P 11,12,14～19
	陸の豊かさを守ろう	安心安全な生活環境を環境分析で支援する・・・P 20,25

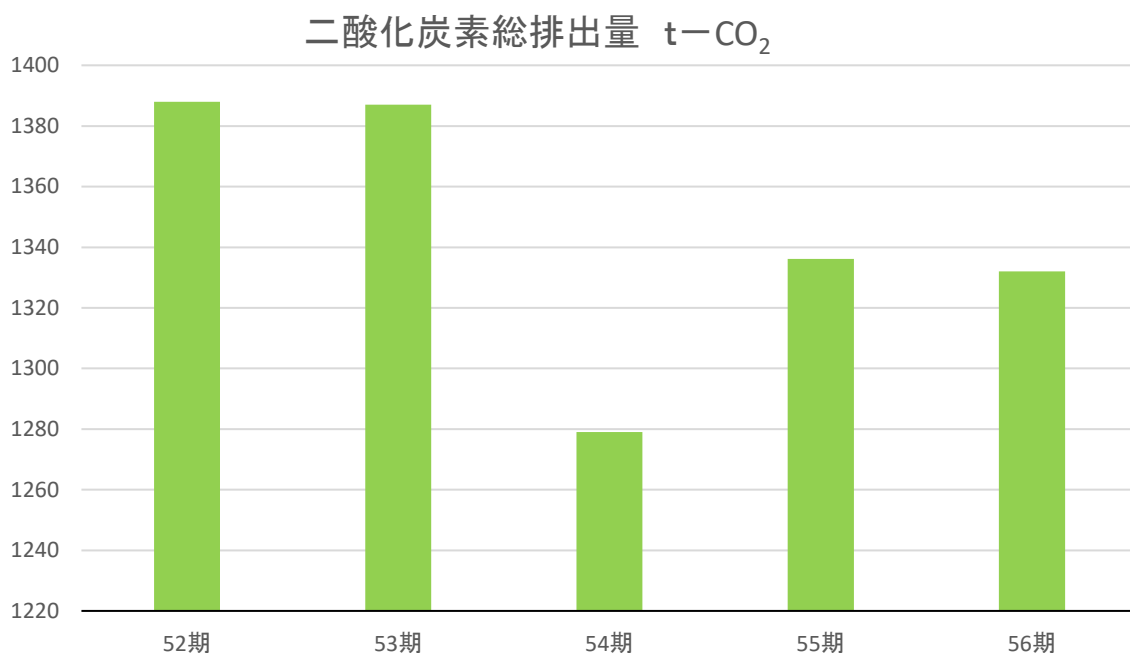
(1) 実績

		単位	52期	53期	54期	55期	56期	排出係数	単位	56期CO ₂ 排出量
二酸化炭素等総排出量	電力 (本社工場・倉橋工場)	kWh	692,673	641,849	643,179	801,597	806,069	* 0.585	t-CO ₂	471.5
		前年対比%	5%↓	7%↓	0.2%↑	24.6%↑	0.6%↑			
	電力 (事務所・休憩所)	kWh	84,290	83,586	82,757	87,897	84,733	* 0.694	t-CO ₂	49.6
		前年対比%	11%↓	1%↓	1%↓	6.2%↑	3.6%↓			
	灯油	ℓ	200	90	-	-	-	0.0679	t-CO ₂	0.0
		前年対比%	-	55%↓	-	-	-			
	A重油	ℓ	153,665	172,522	167,183	163,953	163,272	0.0693	t-CO ₂	442.4
		前年対比%	17%↑	12%↑	3%↓	1.9%↓	0.4%↓			
	L P G	kg	344	254	332	222	274	0.0598	t-CO ₂	0.8
		前年対比%	50%↑	26%↓	30%↑	33.1%↓	23.4%↑			
	ガソリン	ℓ	12,327	11,976	9,942	10,191	10,728	0.0671	t-CO ₂	24.9
		前年対比%	5%↑	2%↓	17%↓	2.5%↑	5.3%↑			
	軽油	ℓ	153,699	147,806	140,178	130,821	130,728	0.0687	t-CO ₂	343.1
		前年対比%	1%↑	4%↓	5%↓	6.7%↓	0.1%↓			
	建設業	kg-CO ₂	7,479	10,361	9,000	3,178	0		t-CO ₂	0
		前年対比%		39%↑	13%↓	64.7%↓	-			
合計		t-CO ₂	1,388	1,387	1,279	1,336.2	1,332.3		t-CO ₂	1,332.3
		前年対比%	2%↑	0.1%↓	8%↓	4.5%↑	0.3%↓		前年対比%	0.3%↓
	総排水量 (事務所・倉橋工場)	m ³	1,200	981	934	903	952		m ³	952
		前年対比%	13%↓	18%↓	5%↓	3.3%↓	5.4%↑		前年対比%	5.4%↑
	廃棄物排出量	t	5,116	5,077	4,756	4,921	4,691		t	4,691
		前年対比%	10%↓	0.8%↓	6%↓	3.5%↑	4.7%↓		前年対比%	4.7%↓
化学物質使用量	セメント使用量 (本社工場)	t	2,000	1,737	1,180	1,384	1,250		t	1,250
		前年対比%	3%↑	13%↓	32%↓	17.3%↑	9.7%↓		前年対比%	9.7%↓
	苛性ソーダ使用量 (本社工場)	ℓ	91,000	80,000	88,000	-	-		ℓ	-
		前年対比%	8%↓	12%↓	10%↑	-	-		前年対比%	-
	PAC使用量 (本社工場)	ℓ	2,500	2,400	900	360	540		ℓ	540
		前年対比%	増減なし	4%↓	63%↓	60%↓	50%↑		前年対比%	50%↑

※二酸化炭素排出量は、エネルギー種類ごとに消費量×二酸化炭素排出係数×単位発熱量を掛け合わせた数字です。この表では各期の消費量の実績と55期二酸化炭素排出量を掲載しています。

※環境省2014年公表電力事業社別CO₂排出係数は、中国電力0.719kg-CO₂/kWhですが、前年との比較と経過観察のため、51期～53期は排出係数（中国電力0.694kg-CO₂/kWh）を使用しています。

※54期～56期は、最新排出係数（中国電力0.585kg-CO₂/kWh）を使用します。



(2) 考察

二酸化炭素総排出量は、前期より3.9 t-CO₂削減しました。

本社工場は、ロータリーキルン式焼却炉は搬入量の増加により15.2 t-CO₂増加しました。回転炉床式焼却炉の改修工事の成果があり、ここ数年増加傾向にあったA重油使用量が減少に転じ17.1 t-CO₂削減できました。電力使用量の削減のため過剰な設備を撤去するなどし削減に努めました。また、セメント使用量は前期比134 t削減できました。57期には、破碎設備更新予定がありますので、破碎後の廃棄物を効率よく焼却して削減に努めていきます。

倉橋工場は、効率よく作業ができ重機稼働時間が減りましたが、肥料配達に掛かる軽油使用量が増加しました。電力使用量は、設備を発酵状況に合わせ送風機をこまめに調節したことで、前期より1.6 t-CO₂削減できました。今後も現状の取り組みを継続して削減に努めていきます。

業務部は、収集ルートの見直しや車両管理を強化したことが結果として表れて、前期より3.7 t-CO₂削減できました。

営業部は、県外の営業活動に力をいれたことで、前期より燃料使用量が0.8 t-CO₂増加しましたが、車両入れ替え等で増加を最小限に留めました。今後も車両入れ替えをし削減に努めていきます。

総務部は、コロナ対策の換気のために室内温度を保つことがままならないこともありましたが、本社事務所照明をLEDにして1.6 t-CO₂削減できました。

全体では、前期より3.9 t-CO₂の削減ができました。しかし、取り組みが頭打ちになってきています。大きな変化を求めるのではなく現状の取り組みを強化することで、少しでもCO₂排出量を削減していきます。また、環境負荷の大きな本社工場には、A重油から燃料を変えるなどの調査もしていきます。

(1) 56期の環境活動計画

※56期は、健康経営の取り組みとして、各自に健康への数値目標を掲げ取り組みをしていきます。
※56期も、環境力道場を開催して、これまでの取り組みの検証と、次世代リーダーの育成に重点を置いた社員教育に取り組みます。
※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取り組み	個人の成長と健康経営	数値目標を掲げて取り組む	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する	通年	本社工場
		プラント運転管理者の技術の向上		
	(2) 業務車両・建設工事のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用	通年	業務部
		管理体制の強化		
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善	通年	倉橋工場
		管理体制の強化		
環境改善	(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部
	(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室
	(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部
	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	鳥獣被害防止対策・飛散防止対策	通年	本社工場
	(3) 施設の改善	設備更新の実施	通年	本社工場
		作業環境と効率アップの設備配置の検討		倉橋工場
コミュニケーション	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場
	(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	倉橋工場
	(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	本社工場
	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	業務部
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生月の人をお祝いする	通年	全部署
		永年勤続者の表彰		
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	総務部
教育		家族見学会の企画・実施	6月	営業部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	総務部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
	(6) 福利厚生への拡充	社内サークルの運営	通年	総務部
	(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	実行委員
	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	通年	総務部
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	5月	EA21事務局
安全衛生	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場
				倉橋工場
				業務部
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
情報公開	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年	全部署
		毎週金曜日の清掃活動		
	(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境活動レポートの発行	11月初旬に55期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

(2) 中期環境目標

担当部署	責任者	取り組み事項	57期 (2023年10月～ 2024年9月)	58期 (2024年10月～ 2025年9月)	59期 (2025年10月～ 2026年9月)
全体	北川	CO ₂ 総排出量	1,311.0	1,298.0	1,285.0
		CO ₂ 排出量の削減 (基準年50期～52期平均)	0.05%削減	0.06%削減	0.07%削減
本社工場	飯田	回転炉床A重油使用CO ₂ の削減 (t-CO ₂)	197.2	197.2	197.2
		回転炉床A重油使用量の削減 (ℓ)	72,777	72,777	72,777
		ロータリーキルンA重油使用CO ₂ の削減 (t-CO ₂)	184.6	184.6	184.6
		ロータリーキルンA重油使用量の削減 (ℓ)	68,139	68,139	68,139
		回転炉床電力使用CO ₂ の削減 (t-CO ₂)	238.7	238.7	238.7
		回転炉床電力使用量の削減 (kWh)	343,930	343,930	343,930
業務部	藤元	業務車両CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	244.2	241.7	239.3
営業部	福原	営業車両CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	19.3	19.1	18.9
		営業車両ガソリン使用量の削減 (ℓ)	8,319	8,233	8,140
事務所	山田	電力使用CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	31.5	30.9	30.6
		電力使用量の削減 (kWh)	53,779	52,821	52,308
倉橋工場	石津	倉橋工場軽油使用のCO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	73.1	72.4	71.7
		倉橋工場軽油使用量の削減 (ℓ)	27,901	27,634	27,325
		倉橋工場電力使用CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	102.0	98.9	97.9
		倉橋工場電力使用量の削減 (kWh)	174,320	169,060	167,350
本社工場	飯田	化学物質(セメント)使用量の削減 (t)	1,824	1,824	1,824
		化学物質(PAC)使用量の削減 (ℓ)	1,000	1,000	1,000
本社工場	飯田	水使用量の削減 (m)	24,207	23,965	23,725
倉橋工場	石津	水使用量の削減 (m)	286	283	280
業務部 (建設業)	水田	エネルギー使用量の削減 (kg-CO ₂)	8767	8679	8592
		廃棄物のリサイクル	全量	全量	全量

※基準年を50期から52期の過去3年の平均値を基に見直しをして選定しています。

※本社工場の目標はこれ以上のCO₂排出量を増やさないことを目標に努めていきます。

※倉橋工場・事務所の取り組みは、52期中期計画を基に選定しています。

※建設工事の目標は52期～54期の平均値を基に選定しています。が、仕事量によりエネルギー使用量は変動します。

※55期以降の電力CO₂削減目標値は、排出係数0.585kg-CO₂/kWhを使用しています。(中国電力公表値)

※3年ごとに最新の電力排出係数の見直しをしていきます。

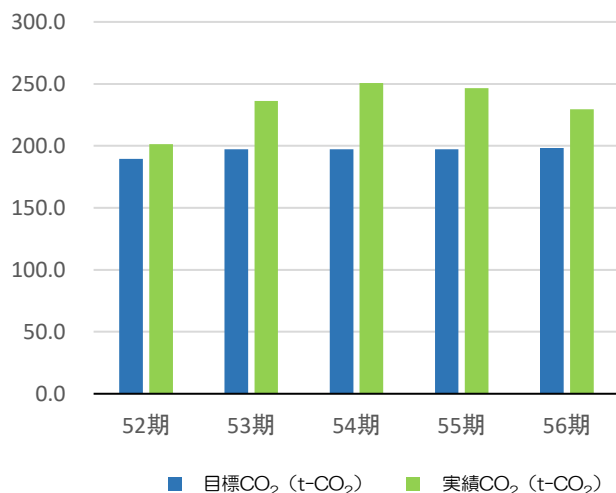
※目標に対する実績が未達成の場合、その実績を基に見直しを検討します。

※化学物質使用量目標値は49期～52期の平均値を元に算出しています。

※全体CO₂排出量は取り組み事項以外の企業活動全体を含みますので、数値は一致しません。

(1) 本社工場の取り組み

回転炉床 A重油使用量



【取り組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 破碎機の更新工事を行いました。
- 廃棄物を破碎する際に、燃焼効率を考え、カロリーが均一になるように選別し破碎することに努めました。

【実績・評価】

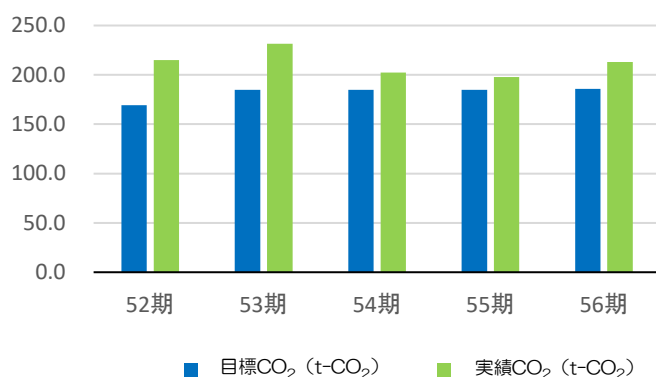
- 目標197.2 t-CO₂に対して実績229.6 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
- 廃棄物が投入スクリュにつまり効率の良い管理ができずロスが生じA重油使用量が増加しました。

【今後】

- 月末にしている進捗状況の見直しを毎週へと頻度を増やしてこまめに是正をします。
- 一軸破碎機のメリットを活かせるようカロリー調整を模索し、安定かつ効率のよい運転管理に努めます。

CO ₂ 排出量 回轉炉床式焼却炉 A重油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	197.2	229.6	16.4%増加	
	ℓ	72,777	84,724		

ロータリーキルン A重油使用量



【取り組み】

- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 汚泥の在庫量の管理を強化し、効率の良い運転管理に努めました。

【実績・評価】

- 目標184.6 t-CO₂に対して、実績212.8 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
- 大きな設備不良が幾度もあり、緊急停止等で効率の良い運転管理ができませんでした。

【今後】

- 搬入量により稼働状況は左右しますが、少しでもA重油使用量の削減に努めます。
- 老朽化している設備を改修して、効率の良い運転管理に努めます。

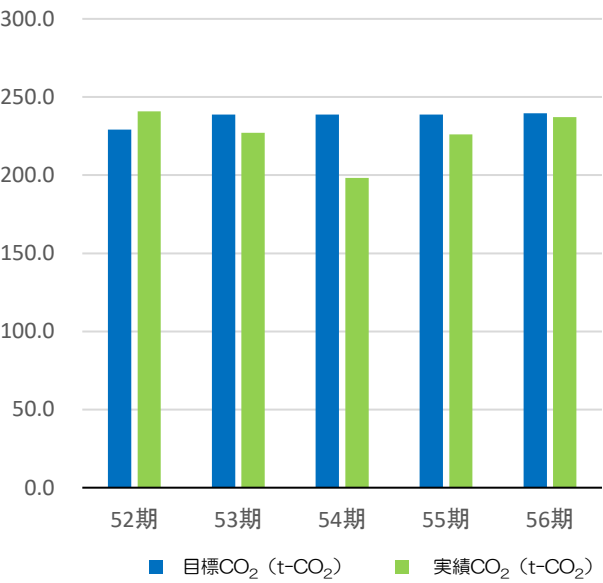
CO ₂ 排出量 ロータリーキルン炉 A重油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	184.6	212.8	15.3%増加	
	ℓ	68,139	78,548		



【本社工場の取り組み】

- 回転炉床式及びロータリーキルンの温度管理を徹底することで、A重油使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

回転炉床 電力使用量



- 【取り組み】
- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
 - 消費電力を抑えるため、機器のオイル交換・グリスアップ等の定期メンテに努めました。
 - 設備更新時には省エネ機器を導入するように努めました。
 - 施設内の電灯・設備不使用時には電源を落とし、こまめな節電に努めました。

- 【実績・評価】
- 目標238.7 t-CO₂に対して実績237.3 t-CO₂と目標達成できました。
 - 既各機器の定期メンテナンスとして、グリスアップ・オイル交換を適正期間で定期的に行いました。
 - 過剰な設備の撤去を行いました。

- 【今後】
- 引き続き使用していない機器はブレーカーを落とすことを徹底し、また、設備更新時には、省エネ機器の導入を進めて、57期も目標達成を目指します。

CO ₂ 排出量 回轉炉床 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	238.7	237.3	0.6%削減	
	kWh	343,930	405,563		

13 気候変動に
具体的な対策を



13 気候変動に具体的な対策を

- 【本社工場の取り組み】
- ・ 回転炉床式の機器は使用時以外ブレーカーを落として待機電力にも注意を払い、電力使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

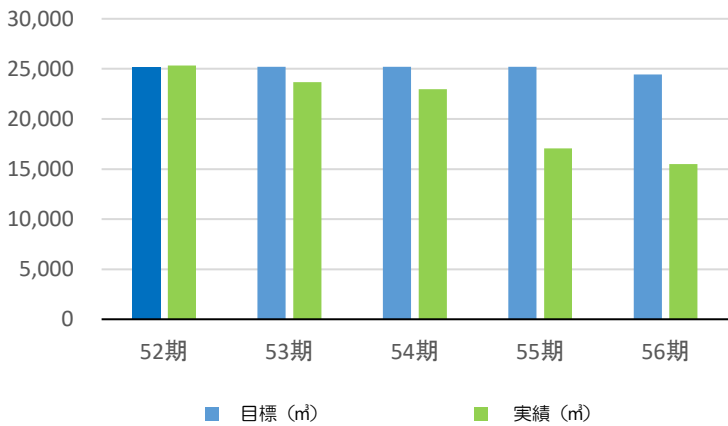


冷却洗浄ポンプ



重油流量計

回転炉床 用水使用量



【取り組み】

● 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。

【実績・評価】

● 目標24,452m³に対して15,498m³と目標達成できました。
● 用水循環配管の更新を行い漏洩がなくなり使用量が削減できました。

【今後】

● 場内全般の更なる節水への意識付けと用水タンクの更新を実施し今後も目標達成を目指します。
● 排水処理設備の更新をして再利用の効率を上げて削減に努めます。

回転炉床式焼却炉 用水	単位	目標	実績	削減率	
	m³	24,452	15,498	36.6%削減	



6 安全な水とトイレを世界中に

【本社工場の取り組み】

- 本社工場では、焼却炉の洗浄等で使用される用水を排水処理施設で再処理して、焼却炉冷却や車両洗浄、場内の洗浄清掃に使用して節水に努めています。

化学物質使用量

セメント 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	t	1,824	1,250	31.5%削減	

PAC 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	ℓ	1,000	540	46%削減	

【取り組み】

- セメント使用量は、仕事量減少により削減しました。また、液状汚泥の固液分離時間を見直してセメント使用量を削減しました。
- PACは、排水処理への負荷を軽減したことで、使用量が削減できました。

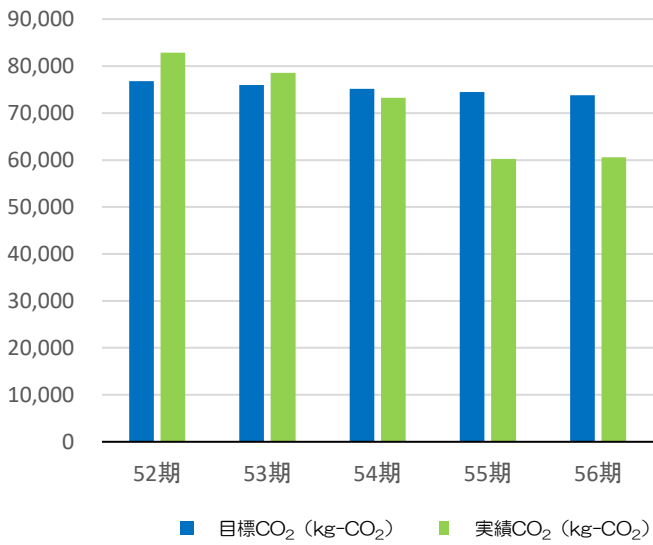
炉床の安定運転により用水使用量は目標達成できました。A重油使用量は炉床の安定運転により前年よりも削減できましたが、目標は未達となりました。電力使用量は目標達成できました。過剰設備の撤去等により目標達成できましたが、ここ数年使用量は増加していますので、皆でこまめな節電と効率の良い運転方法を検討しながら、目標達成できるよう努めていきます。



本社工場 藤井主任

(2) 倉橋工場の取り組み

倉橋工場 軽油使用量



【取り組み】

- 季節に応じて処理方法・行程を見直し、無駄な重機の稼働を抑えました。
- 在庫を適正化し、無駄な作業工程の削減に努めました。
- 肥料配達にかかる燃料消費を抑えるためサービス内容の見直しに取り組みました。

【実績・評価】

- 目標73,800kg-CO₂に対して、60,570kg-CO₂と目標を達成できました。
- 処理方法、作業工程の見直しにより、主要な3台の重機の稼働時間を昨年度より計180時間削減することができましたが、その一方で肥料の需要増加に伴い配達にかかる燃料消費が増え、トータルの使用量は昨年度実績と比べ微増となりました。

【今後】

- これまでの積み重ねによって発酵処理の管理に安定感が増えてきたので、更に作業工程を見直し最適化に努めます。また、より効率的な肥料配達を目指し、スケジュール調整を工夫していきたいと思います。

CO ₂ 排出量 軽油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率 17.9%削減	
	kg-CO ₂	73,800	60,570		
	ℓ	28,140	23,080		

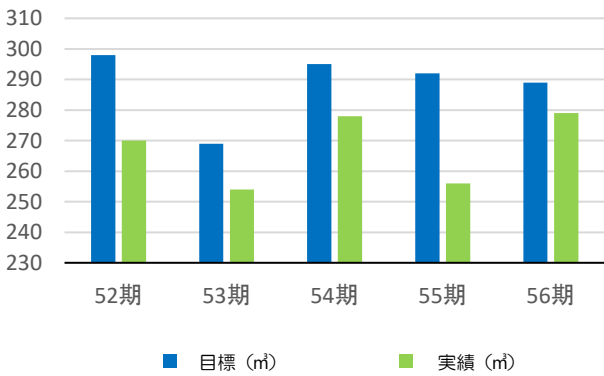


【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、作業工程の見直し等によりムダを取り除くことで電力使用量を削減し、温室効果ガス排出量抑制に努めています。

13 気候変動に具体的な対策を

倉橋工場 水使用量



【取り組み】

- 洗車をされる搬入業者様へ節水のご協力を呼び掛けました。
- 日々の水道メーター確認を通して漏水の有無に気付けるよう意識付けを行いました。

【実績・評価】

- 目標289m³に対して、279m³と目標を達成できました。
- 今年度も漏水は一度もありませんでしたが、施設内の路面改修工事を実施した際に水を大量に使用したため、昨年度の実績と比べると使用量が増えました。

【今後】

- 今後も「必要最低限」の使用量に抑えられるよう、漏水の見落としなど無駄を発生させない管理を徹底していきます。

水道水	単位	目標	実績	削減率	
	m³	289	279	3.5%削減	

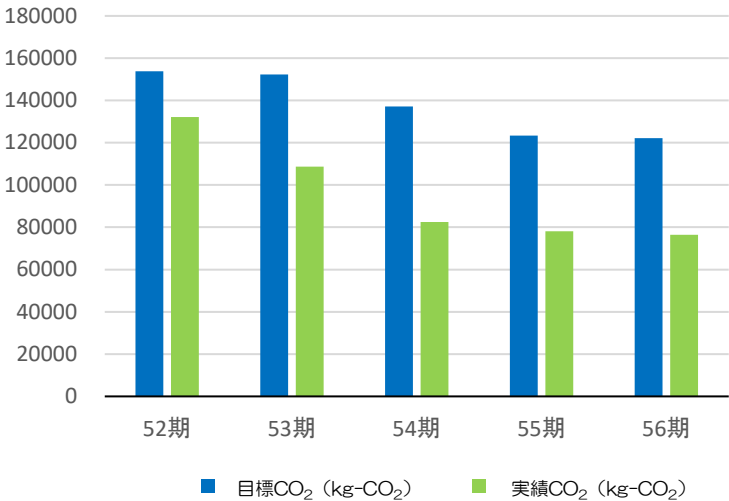


6 安全な水とトイレを世界中に

【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、重機や車両洗車に使用する水使用量の節水に努めています。

倉橋工場 電力使用量



【取り組み】
●発酵状況、外気温等の変化に応じた送風機の風量（周波数）調節を行いました。

【実績・評価】
●目標122,200kg-CO₂に対し76,404 kg-CO₂と目標を達成できました。
●基本的に前年度の記録を元に状況を見ながら送風機の風量調節を行っているの
で、少しずつではありますが確実に使用
量を削減できています。

【今後】
●夏場はもう少し削減の余地がありそう
なので、確実に着実に前進していきたい
と思います。

CO ₂ 排出量 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率 37.5%削減	
	kg-CO ₂	122,200	76,404		
	kWh	176,081	130,605		

13 気候変動に具体的な対策を



【倉橋工場の取り組み】
・倉橋工場では、設備を更新し電力使用量削減と業務改善を両立して温室効果ガス排出量抑制に努めています。



油圧ショベル



小型送風機用インバータ

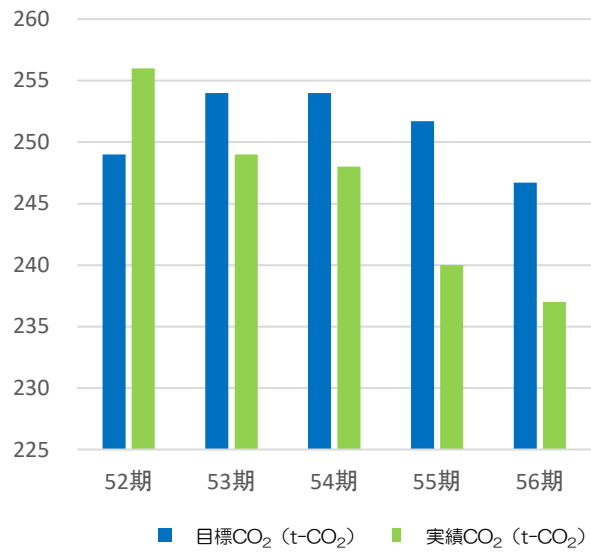


倉橋工場 石津工場長

今期も燃料、水道、電気全てにおいて無事目標を達成することができました。しかしながら電気に関しては、使用量が減ったにもかかわらず電気料金が100万円近く増えており、時代の変化を感じずにはられません。時代の流れを読むことも大切ですが、新しい時代を創造していくぐらいの気概を持って仕事に臨みたいと思います。

(3) 業務部の取り組み

業務車両 燃料使用量



【取り組み】

- 毎月業務部に於ける軽油使用量及び、ガソリンの使用量を集計しました。また、走行距離や、特殊車両についてはアワメーターを計測、記録しました。
- 毎月業務会議で、燃費や燃料代等の情報を共有し、その結果について今後の改善の為に必要なことを検討しました。
- 毎月1台車両をピックアップし、車両美化（さび落とし、塗装、タッチアップ）を行いました。

【実績・評価】

- 目標246.7t-CO₂に対して、237.0t-CO₂と、目標が達成できました。
- アイドリングストップや収集ルートの見直し等を行いました。

【今後】

- 引き続き、燃料使用量の低減及び、修繕・維持管理の効率化に努めます。
- 毎月の業務会議の場を生かし、燃費や修繕経費の低減の為に必要な情報を共有し、全員で考えていきたいと思いをします。

CO ₂ 排出量 燃料	単位	目標	実績	削減率	
	t-CO ₂	246.7	237.3	3.8%削減	

燃料使用量	種類	単位	前年実績	本年実績	CO ₂ 削減率
	軽油	ℓ	89,004	87,633	1.5%削減
	ガソリン	ℓ	2,975	3,146	5.7%増加

13 気候変動に具体的な対策を

【業務部の取り組み】

- ・業務部では、アイドリングストップはもちろんのこと定期メンテナンスによる燃費向上を目指し燃料使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

56期より、車両関係の担当者が入れ替わり、新たに知識を得ようと努力しております。これにより、業務部全体に車両の知識や、車両美化、燃費低減等の意識が浸透していくよう、取り組んで参ります。



業務部 藤元課長

業務部 建設工事

【取り組み】

- 浚渫工事・脱臭装置整備工事等を行いました。

【実績・評価】

- 工事件数は11件で、55期より5件減りました。
- 売上高は21,277千円で、55期より116,326千円減少しました。
- 56期は環境負荷を把握できるような大きな建設工事はありませんでした。

【今後】

- エネルギー使用量の把握にし、環境負荷の軽減に努めていきます。
- 今後も建設工事で発生する廃棄物をできる限りリサイクルします。

【建設工事概要】

- 浄水場の浚渫工事や脱臭装置整備工事を行いました。



活動規模	単位	56期
工事の件数	件	11
売上高	千円	21,277



浚渫工事の様子



脱臭装置整備工事の様子

今期は防食工事など大きな建設工事はありませんでしたので、環境負荷の把握はできませんでした。57期以降大きな建設工事があれば、環境負荷の低減に努めていきます。また、安全に配慮しながら今後も工事に当たっていきます。



業務部 水田課長

期間	目標CO ₂ (kg-CO ₂)	実績CO ₂ (kg-CO ₂)
52期	17,000	22,000
53期	20,000	20,000
54期	20,000	16,000
55期	20,000	16,500
56期	20,000	17,500

- 月末に各営業車の走行距離を集計、ガソリン使用量・燃費を確認し、先月との比較を行いました。
- ガソリン使用量削減を目的として、定期的なタイヤの空気圧チェックを行いました。
- 営業の効率化と無駄な走行の低減の為、営業の帰り便を利用して廃棄物の小口収集を行いました。
- 各自週間行動計画表を作成し、営業場所への効率的なルートを選定し、エリアを集中して営業しました。

- 目標19,913kg-CO₂に対して、17,603kg-CO₂と目標達成できました。
- 週間行動計画を部内で共有することで、計画的な営業がでし使用量も削減できました。
- 営業車両の一台をPHV車に更新しました。

【今後】

- 重複した営業ルートの見直しを行い、無駄な移動を無くしていくことでCO₂削減を目指していきます。

CO ₂ 排出量 ガソリン	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	19,913	17,603	11.6%削減	
	ℓ	8,577	7,582		



車両更新の様子

[illegible]

データ入力シート

13 気候変動に具体的な対策を

- ・営業部では、アイドリングストップはもちろん、定期的に低燃費車両に入替えをし、ガソリン使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

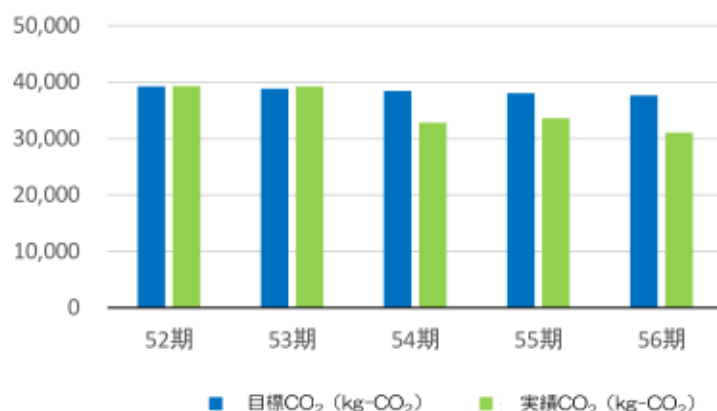
無駄なガソリン使用量の削減・燃費の改善策を積極的に導入しています。走行距離・給油量の把握を行う事で、環境意識向上に繋がっております。また、エコ運転の実施、定期的な清掃・メンテナンスにより、CO₂削減に貢献できていると思います。低燃費車両についても積極的に導入し、57期も営業車両を更新する予定があります。古い車両の更新を行うことでさらに燃料削減を行っていきます。



営業部 福原課長

(5) 総務部の取り組み

事務所 電力使用量



【取り組み】

●事務所内照明の適切な消灯やエアコン設定温度の確認を行い、省エネ活動に努めました。

【実績・評価】

●目標37,700kg-CO₂に対して、実績31,079kg-CO₂と目標達成できました。

●事務所内の蛍光灯をLEDへ交換した事により、電力使用量削減に繋がりました。

【今後】

●適切な節電とエアコンの定期的なフィルター掃除を引き続き継続して行い、電力使用量削減に取り組んでいきます。

CO ₂ 排出量電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	37,700	31,079	17.6%削減	
	kWh	54,322	53,127		

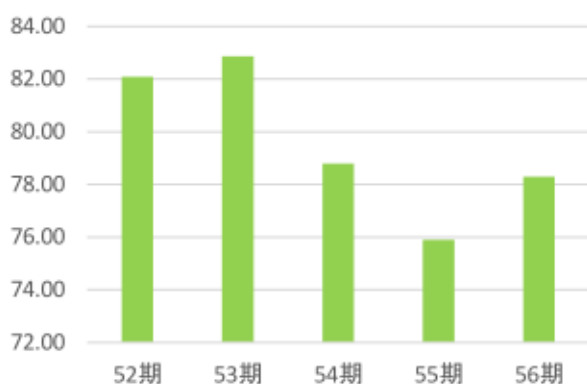
13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に具体的な対策を

【総務部の取り組み】

- 総務部では、事務所内のこまめな節電と快適な仕事環境を両立し、温室効果ガス排出量抑制にも努めています。

グリーン購入率(%)



【取り組み】

●環境対応商品を優先して購入してもらうために、啓発活動を行い社員への意識付けを行いました。

【実績・評価】

●55期の75.9%に対して、56期は78.3%と購入率は増加しました。

●コピー用紙等は100%再生品を購入しています。

●社内清掃用ゴム手袋を環境に配慮した商品に変更しました。環境配慮商品が無い物以外はほぼ100%グリーン購入を継続しています。

●56期も継続して使用済クリアホルダーの回収再資源化事業に参加し、その収益を環境NGOに寄付しました。

【今後】

●環境対応商品を購入しているか、チェックする取り組みを継続していきます。

12 つくる責任つかう責任

12 つくる責任つかう責任

【総務部の取り組み】

- 総務部では、物品購入を管理し、環境対応商品か否かを確認して購入しています。

56期の電力使用量は目標に対して削減という結果となりました。事務所電力は繁忙期や気温に左右されますが、事務所全体で節電を継続し、今後も目標を達成できるよう取り組んでいきたいと思っています。



総務部 山田主任

(6) 環境計量室の取り組み

環境分析

場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.009	0.25	2022/11/1
	塩化水素	mg/m ³	8	700	2022/11/1
	硫酸酸化物	m ³ /h	定量下限値未満	5.7	2022/11/1
	窒素酸化物	ppm	58	-	2022/11/1
	全水銀濃度	μg/m ³	0.04	50	2022/11/1
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.026	10	2022/11/1
本社工場 (ロータリーキルン炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.016	0.25	2022/11/7
	塩化水素	mg/m ³	定量下限値未満	3	2022/11/7
	硫酸酸化物	m ³ /h	0.42	4.8	2022/11/7
	窒素酸化物	ppm	61	-	2022/11/7
	全水銀濃度	μg/m ³	0.64	50	2022/11/7
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.00035	10	2022/11/7
敷地境界	臭気1	臭気指数	10未満	-	2023/5/24
	臭気2	臭気指数	10未満	-	2023/5/24
本社工場 (環境放流水)	BOD	mg/ℓ	9.4		2023/9/4
	COD	mg/ℓ	15		2023/9/4
	SS	mg/ℓ	12		2023/9/4

- * 窒素酸化物の規制値は施設が小規模なため規制はかかっておりません。
 - * 環境放流水は、外部への放流をしていないため規制はかかっておりません。
- (測定機関)
- 本社工場 (回転炉床式焼却炉) : (株)エヌ・イーサポート
 - 本社工場 (ロータリーキルン炉) : (株)エヌ・イーサポート
 - 本社工場 (環境放流水) : (株)カンサイ

作業環境測定	
場 所	管理区分
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	第1管理区分
本社工場 (ロータリーキルン炉)	第1管理区分

- (測定機関)
- MHIソリューションテクノロジーズ
- (測定機関)
- 広島市 (行政測定)



行政測定の様子

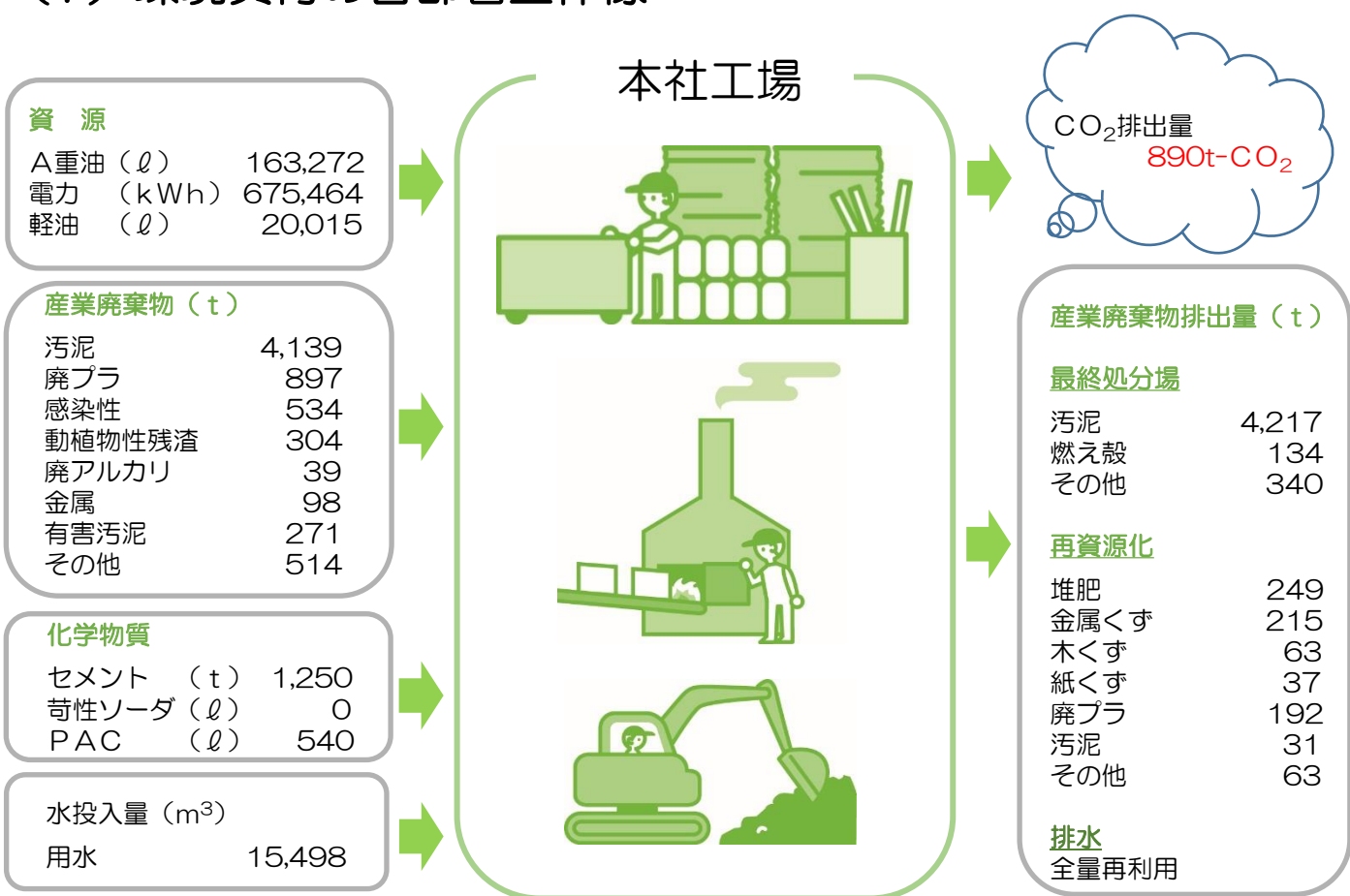
場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	ばいじん	g/m ³ N	定量下限値未満	0.25	2022/10/31
	塩化水素	mg/m ³	13	700	2022/10/31
	硫酸酸化物	m ³ /h	定量下限値未満	5.7	2022/10/31
	窒素酸化物	ppm	78	-	2022/10/31
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.26	10	2022/10/31

56期も環境の法規制に基づき特定施設である回転炉床式焼却炉とロータリーキルン炉の環境測定を実施しました。測定結果は上記の通りいずれの項目も規制基準値以下でした。また、今期は3年に一度の広島市によるダイオキシン類の行政測定も行いましたが、こちらも規制基準値以下でした。来期も遵法性の観点から法規制対象の環境測定を実施してまいります。

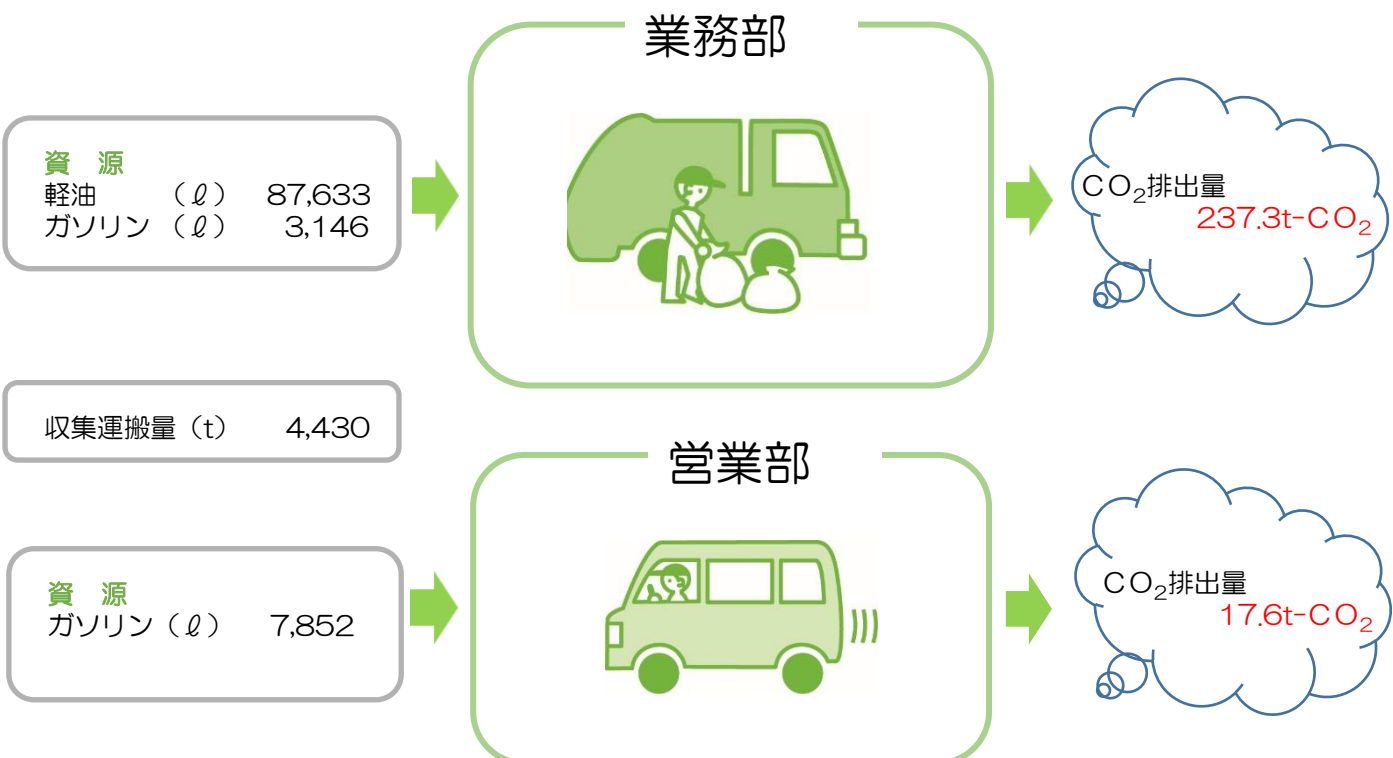


環境計量室 道方室長

(7) 環境負荷の各部署全体像

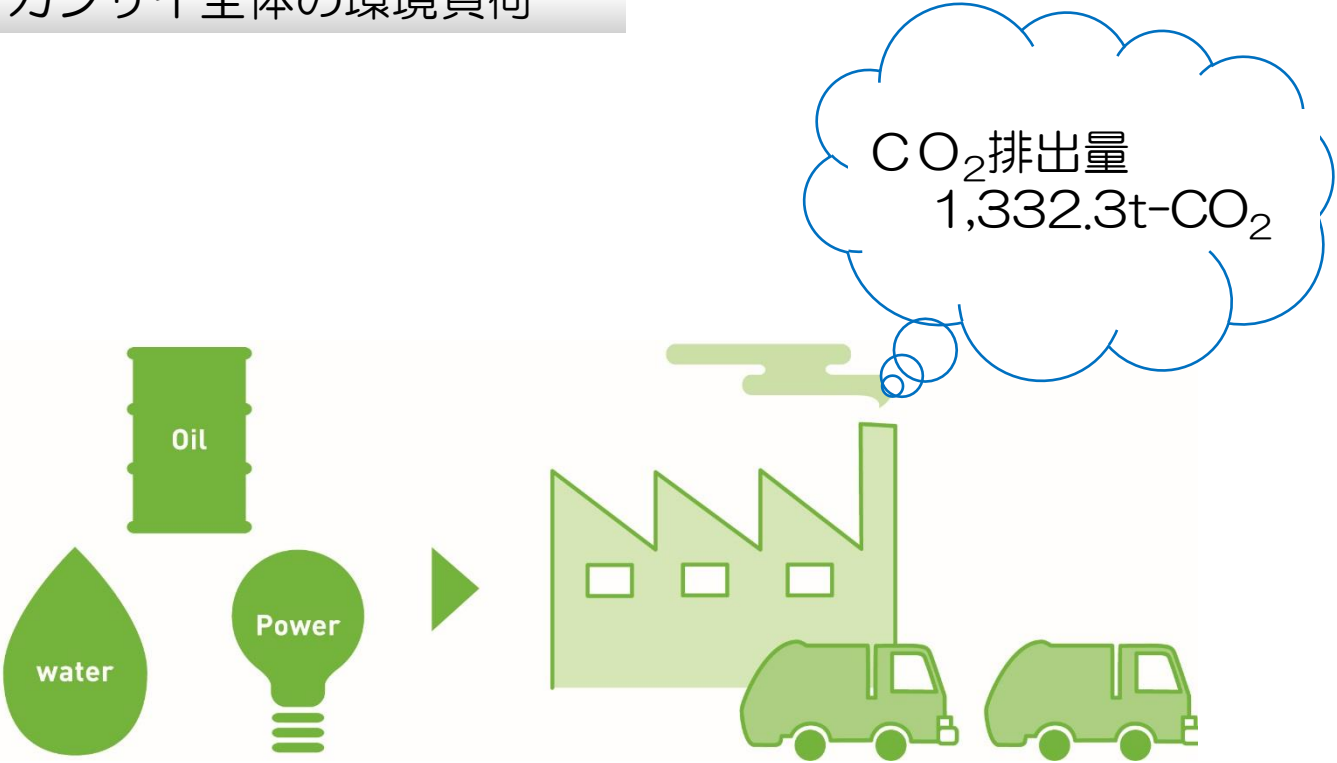


*本社工場は、リサイクルが困難な廃棄物を積極的に受入れています。従ってリサイクル率が13%（54期11.1%）と低いのですが、今後もリサイクル困難廃棄物を可能な限り分別してリサイクル率向上に努めます。





カンサイ全体の環境負荷



(1) 本社工場の取り組み

【取り組み】

- 施設の改善として、プレス機の更新をしました。
- 二軸破碎機から一軸破碎機に入れ替をしました。
- 在庫管理の強化として、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成し実行しました。併せて毎月1日に定点観測をしました。
- 各環境測定として、56期もダイオキシン測定をはじめ各環境測定を実施しました。
- 一年間無事故無災害として、指差し確認の啓発と熱中症対策をしました。

【実績・評価】

- 施設の改善では、経年劣化の激しかったプレス機の入れ替えを実施しました。
- 破碎機の入れ替えによって廃棄物がより微細になり、コンベアやスクリュウでの詰まりが劇的に改善されました。
- 在庫管理強化では、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成することで、廃棄物が滞ることがなくなりました。また、毎月定点観測することで客観的に在庫状況が把握でき、先入れ先出しが容易にできるようになりました。
- 各環境測定を実施し測定結果は基準値以下でした。詳しいデータは20ページに掲載しています。
- 一年間無事故無災害では、朝礼での危険予知活動の継続と指差し確認の徹底をしました。
- 夏場の熱中症対策として、プレス作業場にコンセント工事をして、スポットクレーや扇風機が容易に設置できるようにしました。
- 点検や各作業の手順書を細かく記載しヒューマンエラー防止に努めました。

【今後】

- 施設の改善として、微細になった廃棄物の飛散防止対策をしていきます。
- 在庫管理として、定点観測資料を活用して廃棄物の定位置を決め定量管理をして、効率よく仕事ができるように努めていきます。
- 一年間無事故無災害として、今までの取り組みを継続することと、廃棄物における危険性を再教育して無事故無災害に取り組んでいきます。



入れ替後のプレス機



破碎機工事の様子



破碎機試運転の様子

56期はプレス機、破碎機の更新をし、プレス機に関しては、トラブルもなくなり、効率よく作業ができるようになりました。破碎機に関しては、以前に比べ廃プラも細かく粉碎され、コンベアでの詰まりも減りスムーズに処理をすることができるようになりました。しかし、問題点として廃プラが細かくなったことで飛散が目立つようになりました。いかに楽に管理ができるようになるか、問題点の解決方法を、運転管理者みんなで考え、より改善できるようにしていきます。



環境事業部 森中主任

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み】

- 工場内の路面の一部をコンクリート舗装しました。
- 発酵槽建屋屋根の雨漏り補修工事を実施しました。

【実績・評価】

- 路面の凸凹が解消されたことで、車両重機を使った場内での様々な運搬作業時の荷崩れ、荷こぼれが減り、安全に作業を行うことができるようになりました。
- 建屋内の雨漏りがなくなったことで重機のスリップによるヒヤリハットが少なくなりました。

【今後】

- 安全な労働環境で安定的に事業が継続できるよう様々な角度からリスクを低減する取り組みを進めていきます。



修繕工事の様子



工事完了後の状況

(3) 業務部の取り組み

【取り組み】

- 一年間無事故・無災害を達成する為、毎朝のKYKミーティングを行い、また、部内の密な情報共有のために、月一回の業務会議と共に、週一回の管理者ミーティングを行いました。
- 飲酒運転の防止及び新型コロナウイルス感染拡大防止策として、毎朝のアルコールチェック、手指消毒、検温を行いました。
- 定期的に除草作業をしました。

【実績・評価】

- 無事故・無災害では、労災が0件、安全確認不足による接触事故が7件起きました。
- 56期に於いても、アルコール検出者は0人でした。
- 法面や社員駐車場までの道路の除草を定期的に行いました。

【今後】

- 無事故・無災害を達成するために、引き続き、危険予知活動を継続していきます。
- 多種多様な業務を安全に遂行する為に、部内コミュニケーションや、情報共有に力を入れていきます。



早朝清掃の様子

56期倉橋工場では、長年の懸案事項であった搬入通路の路面改修工事を行い、快適に作業ができるようになりました。

業務部では、アルコールチェック義務化によって出勤時、退社時の検査を実施し記録に残しました。両部署ともに57期も今までの取り組みを継続していきます。



業務部 水田課長

(4) 環境計量室の取り組み

【取り組み】

- 社屋周辺の土壌及び地下水汚染の有無を調査するため、年1回観測井戸調査を実施しました。
- 水質汚濁防止法に基づく水質検査を本社屋合併浄化槽にて年1回実施しました。
- 本社工場の処理水（外部への放流なし）は、自主基準値を設け年1回実施しました。
- 本社工場から最終処分場へ搬出される汚泥や燃え殻を、埋立基準に適合するか否かを判定するために有害物質の分析を実施しました。
- 分析技術向上のため、内部精度管理を行うと共に、環境省主催の外部精度管理に参加しました。
- 分析に使用する薬品の管理、特に劇物毒物のチェックを毎月行い、薬品の漏洩等の事故防止に努めました。



サンプリング業務

【実績・評価】

- 本社屋及び本社工場の水質検査結果は、共に排出基準値及び自社基準値を下回る値でした。
- 環境省主催の外部精度管理の結果は適合でした。
- 劇物毒物の管理チェック表を記録保管しました。

【今後】

- これまで取り組んできた事柄を継続すると同時に、新たな課題等を見出し解決に努めて行きます。



分析装置点検の様子

15 陸の豊かさも守ろう

【環境計量室の取り組み】

- 分析室では、人と動植物の共生に必要な環境の保全を分析業務を通して、持続可能な自然環境の一翼を担っています。

56期も本社や工場の排水等の分析を実施しました。分析結果が基準値を下回ることを確認しました。また、薬品管理に関してチェックリストを作成し、紛失・盗難を防いで適切な管理ができるよう毎日確認を行っております。こうした活動を通して分析機関としての信頼性を高めつつ、環境保全に貢献できるよう日々取り組んでいます。



環境計量室 道方室長



(1) 営業部の取り組み

【取り組み】

- 社員及び家族とのつながりについて、社内報「春夏秋冬」を今期も年2回継続して発行し社員の各家庭に郵送しました。
- 地域貢献の一環として、会社周辺道路の清掃活動を毎月1回、継続して実施しました。
- 見学者の受け入れ拡充については、28社64名様の方が見学に来られました。

【実績・評価】

- 社内報は今期も年2回継続して発行しました。カンサイの社歴をその時代のニュースと合わせて記事にしたり、話題のチャットGPTを2ヶ月間実際に使って記事にしたりと、ご家族の皆様にも興味を持ってもらえるよう工夫しました。
- 会社周辺道路の清掃活動については、毎月1回の収集を行い、年間可燃ごみ約39kg、空き缶約7kgを回収しました。前期と比較すると可燃ごみが12kgの減少となりました。
- 前期よりも4社14名様多くの方が施設見学に来られ、排出者・処理業者として様々な情報交換を行う事ができました。

【今後】

- 年2回の社内報「春夏秋冬」の発行を継続していきます。社員同士のコミュニケーションを円滑にし、ご家族の皆様には、会社の事や社内の雰囲気などが伝わるよう工夫していきます。
- 地域清掃活動については、地域社会の一員として環境美化に貢献し、57期も月1回の清掃活動を継続していきます。
- 見学者の受け入れについては積極的に行い、安心頂けるよう施設見学の内容を工夫し情報公開を行っていきます。



野球観戦の様子



登山同好会の様子

11住み続けられるまちづくりを

【営業部の取り組み】

- 営業部は、地域貢献の一環として継続的に清掃活動に参加し住みやすいまちづくりに貢献しています。



今期は新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に引き下げられた事で、お客様とも対面で接する事ができるようになり、社内でも野球観戦や同好会等で他部署同士の交流も図ることができるようになりました。

今後も社内報発行・地域清掃活動・施設見学の受け入れを継続して取り組むことで、社内及びステークホルダーの皆様との関係性を深めていきたいと思えます。



営業部 中尾主任

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み】

- 部署内のチーム力向上を目指し、2カ月に1回のペースで部署内ミーティングを実施しました。
- コロナ禍で忘年会などの会社行事が中止される中、部署内で小規模な親睦会（冬、夏）を実施しました。

【実績・評価】

- 社内研修（環境力道場）の内容や部署内の作業計画、業務の方向性を共有し、日々の仕事に活かすことができました。
- 親睦会では、日頃見られない人となりやバックボーンなども垣間見ることができ、改めて少人数の中にある多様性を認識することができました。

【今後】

- ミーティングを通して部署内のベクトルをしっかりと合わせ、ゆっくりでも着実に進歩していける部署を目指します。57期から忘年会が再開される予定ですが、夏の親睦会は引き続き実施して人と人との調和を大切にしていきたいと思います。

(3) 総務部の取り組み

【取り組み】

- 社員とのつながりとして、「永年勤続表彰」と「誕生月にあたる社員のお祝いとケーキ」と「社員の中学生以下の家族の誕生日お祝いケーキ」を継続して行いました。
- 家族を含めたコミュニケーションの場である、「家族会」を企画しました。
- 社員間の情報共有として、社内掲示と社内事項の一斉メール配信を継続して行い、情報の共有化を図りました。
- 使用済みのクリアホルダー回収を継続して行い、再資源化に取り組みました。
- 拡大するコロナウイルス対策として、社内の定期的な換気、消毒、清掃等、感染防止に努めました。

【実績・評価】

- 56期の「永年勤続表彰」は9名の社員が該当し、お祝いをしました。朝礼での授賞式や、受賞者の写真を社内に掲示したことで、本人のみならず他の社員のやりがいや意欲向上、社員の定着率UPにつながる取り組みが出来たと思います。
- 「家族会」を企画していましたが、コロナウイルス感染拡大予防の観点から、中止となりました。
- 56期も引き続き、ホームページのお知らせを定期的に更新し、積極的な情報公開に努めました。

【今後】

- 社員からも好評の「永年勤続表彰」と「誕生月にあたる社員のお祝い」は57期も継続して行いたいと思います。コロナウイルスは5類へと移行しましたので、57期は「家族会」の開催に向けて取り組んでいきたいと思います。
- コロナウイルス等の感染予防対策を引き続き実施し、社員の健康に寄与していきたいと思います。

8



8 働きがいも経済成長も

【総務部の取り組み】

- 総務部は、誕生日のお祝いや家族会などイベントを企画し、社員間のコミュニケーション向上を図り働きやすい職場づくりに努めています。

56期は、少しですが社員が集まる機会も増えてきました。会社としてコミュニケーションの充実が重要な要素ととらえています。

今後も仕事以外の部分でも仲間を尊重していける取り組みを継続していきたいと思います。



営業部 田原取締役

(1) 環境力道場

【環境力道場とは?】

●環境力道場はその名の通り、環境力を身につけることによりカンサイ独自のビジネス展開と持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、皆で道場のごとく意見をぶつけ合い、互いの理解を深め各自の能力向上を図る社員研修です。外部講師（環境文明研究所、加藤三郎先生、藤村コノ卫先生）を招いて実施しています。

【研修内容】

●コロナウイルス感染症の位置付けが5類になったことで対面にて開催し、廃棄物業界の最新情報や地球温暖化問題等を幅広く学び、今後の事業展開を模索しました。

●46期（2013年度）から始まった環境力道場を継続して取り組むことで、知識を知恵に変え、自ら考え行動できる社員を育てています。

●社員数の一番多い業務部が抱える問題点を部員全員で議論した内容の進捗状況を確認しました。

●各部署の役職者が参加をして、カンサイが目指す将来像「環境創造総合企業」とは、どのような方向で歩むべきか、を議論しました。

●会社をよりよい方向に持っていくために、それぞれの部署が具体的にどのようなことを行っているのかを明確にして、会社の発展を全員が考えるようになることを目指し、議論しました。

●環境力道場に参加していない社員に向けて、議事録と会話記録をメールで発信し情報共有を図りました。

【今後】

●日本の削減目標2050年ゼロエミッションに向けての規制強化の情報を注視して今後の事業展開をしていきます。

●全社員の知恵を結集させて、日々起こる問題やこれまで解決できていない課題の解決策を導きだし、実行していきます。

●環境創造総合企業とは、社会情勢やお客さまのニーズ、環境と共に変化していきますので、社内の横の繋がりを密にして、その時々によき選択ができるような企業体質にしていきます。

●次世代への継承を視野にいれた取り組みを継続していきます。



業務部研修の様子



研修の様子



成果発表の様子

討議1 各部署の中・長期計画の点検

営業部（田原） 企業規模や自社で出来ることを考えて営業していくこと
 本社工場（北川） 焼却炉改修工事が完了したが、分別機は売却の方向で検討中
 倉庫工場（石津） 肥料内容量を見直し等もあり数年前よりは販売量も増加している
 総務部（金子） 出勤形態が変わり良い方向に向かっている
 分析室（立川） 分析素人でもできるように仕事内容をより細かく細分化している
 業務部（菊池） 車両燃費削減と資格取得により仕事の幅を広げている 営業部は中・長期計画は作成できず半年目標での討議

討議2 環境創造企業について

会話記録

コ）環境創造総合企業とは、人と人・人と自然の調和のとれた会社とゆうこと？
 加）産廃にとどまらないことが大切
 コ）コンサル業はやっている？
 田）やっているとは言えない。どちらかと言えばアドバイス業や環境に関する支援業
 コ）建設業とは業務部がやっている仕事？
 田）そうです
 北）他社との連携、自社で出来ないことは協業
 コ）田原さんが先ほど自社でやると言うのはどうなの？
 田）できることは自社で、まかなえないことは協業していかないと売り上げは伸びない
 田）収集運搬～処分までできる会社はあるが、調査や調剤などまでできる会社はあまりない
 コ）きなり村の今後は？小規模で作物を育てて活用することが一次産業といえる？
 田、北）一次産業という話ではなく、きなり村を活用するための手段に過ぎない

会話記録

(2) 環境文明塾

【環境文明塾とは】

●持続可能な社会を築くための理念や手段等について様々な業種の多くの仲間と一緒に探求し、それを、明日の企業社会を担い、子どもたちを始めとする次世代に健全な社会を引き継げる人を育てる場でNPO環境文明21が主催するものです。

【取り組み】

●異業種の方々と活発な議論や意見交換が行われ、持続可能な社会の実現にはいろいろなアプローチの仕方があることを学びました。

【感想】

●実生活に深く直結している点が多く、自分と違った視点からの考え方、異業種ならではの気づきと共感もあり有意義な討議ができた。
●環境問題の解決に向けて考えていくには、対策を技術的なものだけに頼っていくのではなく、哲学や倫理を個人が考えていくことが大切と感じた。

(3) 全体教育

【健康経営】

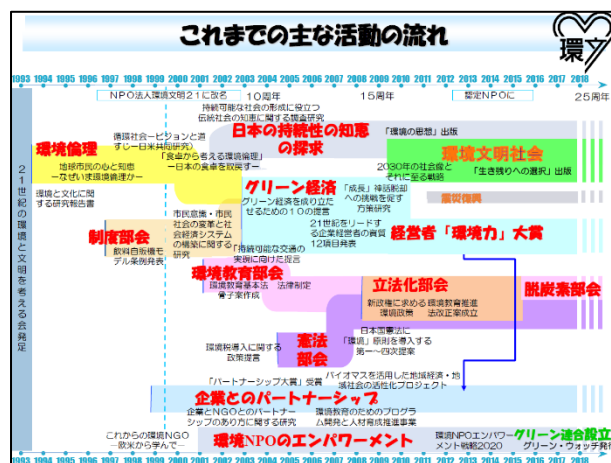
●今期は「健康経営」を目標に全社員で取り組みました。

【取り組み】

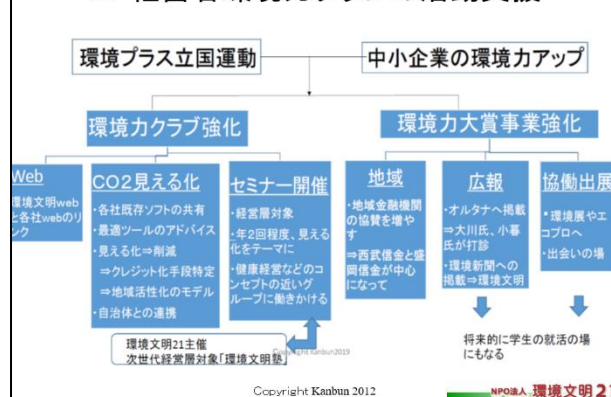
●各自が「健康への取り組み」の行動目標を掲げて一年間取り組みました。
●56期終了時に検証を行いました。達成できた48%、達成できなかった52%。(詳細は40ページに記載)

【今後】

●会社にとって社員は宝です。心を豊かに人生を送ってもらうには、まず、健康な体づくりが必要との考えのもと、各々の実情に応じた目標を掲げて行い、会社からは助成をして取り組みの後押しをしていきます。



5. 経営者環境力クラブの活動支援



環境事業部 本社工場	
北川 貴伸	・ランニングマシンの傾斜角 15度・時速 6km を 50 分歩けるようになる
飯田 一樹	・1 カ月で 45 km 歩く
森中 高志	・腕立て腹筋を毎日 20 回する
藤井 拓磨	・筋力トレーニングをする (1 日腕立て 50 回、腹筋 50 回、背筋 50 回以上)
宮森 勝志	・一年で体重を 60 kg にする、休日 5000 歩以上歩く
矢羽田 俊子	・1 日 8,000 歩以上歩く・週 1 回 (日) 禁酒 (休肝日) をとる
環境事業部 倉橋工場	
石津 智久	・年間 1500 km のジョギングをする
細川 洋	・1 日 1 万歩目標に歩く
細馬 敦雅	・毎日、スクワット 50 回をやっていくこと、年間 18,250 回以上を目指す、理由両足 (過去にひざを骨折したため) の筋肉が落ちていて
江木 貴臣	・年間 10000 回の腹筋と 30 分のウォーキングをする
環境計量室	
道方 克成	・毎日、8,000 歩以上歩く・1 カ月の内 24 日以上の日数、8,000 歩以上歩けば達成とする

健康の取り組み

4 質の高い教育をみんなに

【組織全体の取り組み】

・カンサイは、OURカンパニーの考えの元に環境力道場や社員研修旅行など多くの社員教育を行っています。会社の宝である社員に各研修を通じ、より良い仕事ができ、より良い生活が送れるよう教育の場を設けています。



(4) 火災訓練

【活動内容】

- 取引先で漏洩事故が発生したことを踏まえて、本社工場で漏洩事故訓練を実施しました。
- 本社工場の、消火栓の動作確認と消火器の点検を行いました。

【今後】

- 迅速に初期対応ができる体制づくりのため、定期的に訓練を実施していきます。

【感想】

- 実際に事故発生時には、パニックになりやすいので、訓練をすることで迅速に対処できるようにしたい。
- 経験を頭に叩き込み、事故発生時には適切に対応したいと思いました。
- 事故はあってはいけないのですが、起きた時には慌てず対応したいです。



漏洩事故対処訓練の様子

(5) カンサイ理念手帳

【カンサイ理念手帳（フィロソフィー）とは】

- フィロソフィーとは、日本語で『哲学』のことです。私たちカンサイは、人と人との調和・人と自然との調和を大切にして、全従業員の物心両面の幸せを追求する企業です。

【取り組み】

- 手帳の内容をより浸透させるために、ソフト面的な項目について、各部署でミーティング等により共有を図りました。
- 環境力道場でも各項目の深堀をしました。

【今後】

- 50期に完成した理念手帳の内容を一人ひとりがより深化させて、良いことがあっても悪いことがあっても、カンサイ社員としての判断基準にしていきます。
- この理念手帳はこれで完成ではなく、日々の仕事を通じて得た新しい気付きとともに、今後の目標に向かって社員自らが修正・追加を重ね進化させていきます。



カンサイ理念手帳

(6) セクハラ・パワハラ防止

【セクハラ・パワハラ対策】

- 経営者と顧問弁護士からなる相談窓口を設けセクハラ・パワハラの撲滅に努めています。

【実施内容】

- 56期もハラスメント相談件数が0件でした。
- 顧問弁護士が開催する勉強会に参加してハラスメント防止に努めました。

【今後】

- 一人ひとりが行動や言動に注意を払いカンサイからハラスメントの加害者、被害者が出ないように努めていきます。

5 ジェンダー平等を実現しよう

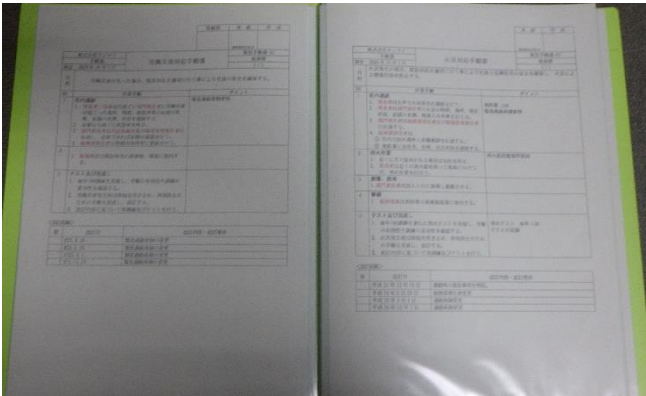
【組織全体の取り組み】

- カンサイは、顧問弁護士によるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントの社員研修を全社員が受講し各種ハラスメントが起きないように努めています。

(7) 文書管理

【取り組み】

- エコアクション文書管理内容の雛形の点検を行いました。
- 【実績・評価】
- 手順書等が現状の取り組みに相違がないか確認を行いました。
- 【今後】
- 今後も文書管理を定期的に確認していきます。



緊急事態対応手順書

(8) 資格取得

資格名	取得者数 (55期)	取得者数 (56期)	資格名	取得者数 (55期)	取得者数 (56期)
環境計量士	2	2	フルハーネス	10	11
特別管理廃棄物処理業（処分過程）	1	1	アーク溶接	7	7
特別管理廃棄物処理業（収集運搬）	1	1	高所作業車	4	6
産業廃棄物処理業（処分過程）	1	1	特定化学物質等作業主任者	6	6
産業廃棄物処理業（収集運搬）	1	1	有機溶剤作業主任者	4	4
産業廃棄物焼却施設技術管理士	1	2	玉掛	15	15
産業廃棄物中間処理施設技術管理士	1	2	足場	3	3
作業環境測定士	1	1	車両系建設機械（整地等）	10	10
臭気判定士	1	1	小型移動式クレーン	10	10
1級土木施工管理技士		1	車両系建設機械（解体）	5	5
2級土木施工管理技士	4	4	フォークリフト	14	14
計量証明事業主任計量者	2	2	高圧洗浄作業	4	4
一般毒物劇物取扱者	2	2	職長教育	3	3
危険物取扱者（乙種第4類）	2	2	下水道管路管理技士	1	1
危険物取扱者（丙種）	1	1	小型ボイラー取扱業務	1	1
第一種安全衛生管理者	5	5	廃棄物の焼却施設に関する業務	4	4
運行管理者	2	2	廃棄物焼却施設（ダイオキシン類）作業指揮者	2	2
安全運転管理者	2	2	第二種電気工事士	3	3
二級ボイラー	1	1	ガス溶接	8	8
第二種酸素欠乏危険作業主任者	15	16			

※退職者等により取得者と取得者数が一致しません。

【取り組み】

- 資格取得へのチャレンジでは、本社工場で「焼却施設技術管理士」を1名「中間処理施設技術管理士」を1名取得しました。
- 業務部では「1級土木施工管理技士」を1名、「第二種酸素欠乏危険作業主任者」を1名、「フルハーネス」1名取得しました。
- 倉橋工場では「高所作業車」を2名取得しました。

【実績・評価】

- 必要な技能や教育を計画的に取得することができました。

【今後】

- 57期も必要な資格取得はもちろんのこと、社員のスキルアップのため、資格取得にチャレンジしていきたいと思います。

コロナウイルス感染症が5類に移行した事で、感染対策で中止や延期していた取り組みも少しずつ行えるようになってきました。環境力道場や環境文明塾、カンサイ理念手帳など色んな場面で教育の充実を継続していきたいと思います。また、社員の健康への取り組みや資格取得も継続してサポートしていき、社員の皆さんのモチベーションアップとスキルアップの向上に努めてまいります。



本社工場 飯田次長

(1) 本社工場の取り組み

【取り組み内容】

- ひとつの作業を確実に行うよう、指差し確認を徹底して行いました。また、工場内に標語を張り出して注意喚起を促しました。
- 啓発のため指差し確認のボードを工場の各所に設置しました。その甲斐あって本社工場では、無災害日数が2681日（9/30現在）を継続しています。
- 毎日の朝礼時に、「報連相」「5S」の復唱をして意識向上に努めると共に、工場内に標語を張り出して注意喚起を促しました。
- 搬入車両の接触事故防止のため誘導を徹底しました。
- 場内排水処理の維持管理を徹底しました。
- 美化活動として、場内法面の除草作業を定期的に行いました。
- 毎日業務終了後には、使用した重機の洗車と定期的にフックス掛けをして清潔で衛生的な職場づくりをしました。
- 重機や設備に腐食が見られると、塗装をして腐食防止を行い重機と設備の延命をしました。



指差し確認作業風景



無災害ボード



誘導の様子



SV測定の様子



洗車の様子

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み内容】

- 朝礼時にKY活動を実施し、注意喚起およびヒヤリハットの共有をしました。
- 豪雨により崩落の危険性がある法面に雨水側溝据え付け工事を行いました。
- 場内の劣化した路面を補修して荷崩れ等のリスク軽減をしました。



側溝設置の様子

(3) 業務部の取り組み

【取り組み内容】

- 毎日出勤時にアルコールチェックを行いました。卓上用アルコール検知器を導入してから検出された人は0人で、飲酒運転撲滅に対する社員の意識も年々向上しています。また、法改正に伴い検知の記録と保存を行いました。
- アルコール検知器に運転免許証の有効期間も表示されますので、運転免許更新忘れがないよう注意喚起を行っています。

[illegible]

アルコールチェック表

(4) 組織全体の取り組み

【取り組み内容】

- 毎日朝礼前に、本社周辺道路の清掃と春夏には除草作業をし、秋冬には落ち葉の清掃を行っています。
- 営業部は月に一度清掃範囲を広げて周辺道路の清掃を行っています。このような地道な活動を継続することで、周辺美化に気をつけています。
- 労働災害防止啓発活動として、毎月1日から一週間を安全週間として安全旗を本社屋に掲げて啓発活動を行っています。



除草作業の様子

本社工場・倉橋工場・業務部ともに、一年間無災害でした。倉橋工場では、雨水排水側溝の工事を行い豪雨対策をしました。車両の洗車や除草作業などの美化活動や、車両誘導やアルコールチェックなど基本的なことも疎かにせず継続できていることで、各々の安全に対する意識が向上しここ数年の無災害に繋がっているものと思います。

今後も上記の取り組みを継続して無災害を継続していきます。



業務部 菊池次長

産業廃棄物収集運搬業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03409004558号	令和10年09月01日	優	令和3年09月02日
岡山県	第03307004558号	令和12年06月18日	優	令和5年06月19日
島根県	第03200004558号	令和7年11月07日	優	平成30年11月08日
山口県	第03500004558号	令和7年11月24日	優	平成30年11月25日
鳥取県	第03104004558号	令和10年07月05日	優	令和3年07月06日
愛媛県	第03805004558号	令和7年08月28日	優	平成30年08月29日
高知県	第03900004558号	令和11年09月04日	優	令和4年09月05日
徳島県	第03600004558号	令和5年10月23日	優	平成28年11月08日
香川県	第03709004558号	令和12年05月26日	優	令和5年05月27日
兵庫県	第02803004558号	令和11年08月30日	優	令和4年08月31日
大阪府	第02700004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03459004558号	令和5年11月28日	優	平成28年11月29日
岡山県	第03357004558号	令和12年06月18日	優	令和5年06月19日
島根県	第03250004558号	令和12年09月02日	優	令和5年09月03日
山口県	第03550004558号	令和7年11月24日	優	平成30年11月25日
鳥取県	第03154004558号	令和8年02月01日	優	平成31年02月02日
愛媛県	第03855004558号	令和7年08月28日	優	平成30年08月29日
高知県	第03950004558号	令和11年09月04日	優	令和4年09月05日
徳島県	第03650004558号	令和5年10月23日	優	平成28年11月08日
香川県	第03759004558号	令和12年05月26日	優	令和5年05月27日
兵庫県	第02853004558号	令和11年08月30日	優	令和4年08月31日
大阪府	第02750004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

産業廃棄物処分業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07320004558号	令和11年03月21日	優	令和4年03月22日
呉市	第07422004558号	令和10年07月28日		令和5年07月29日

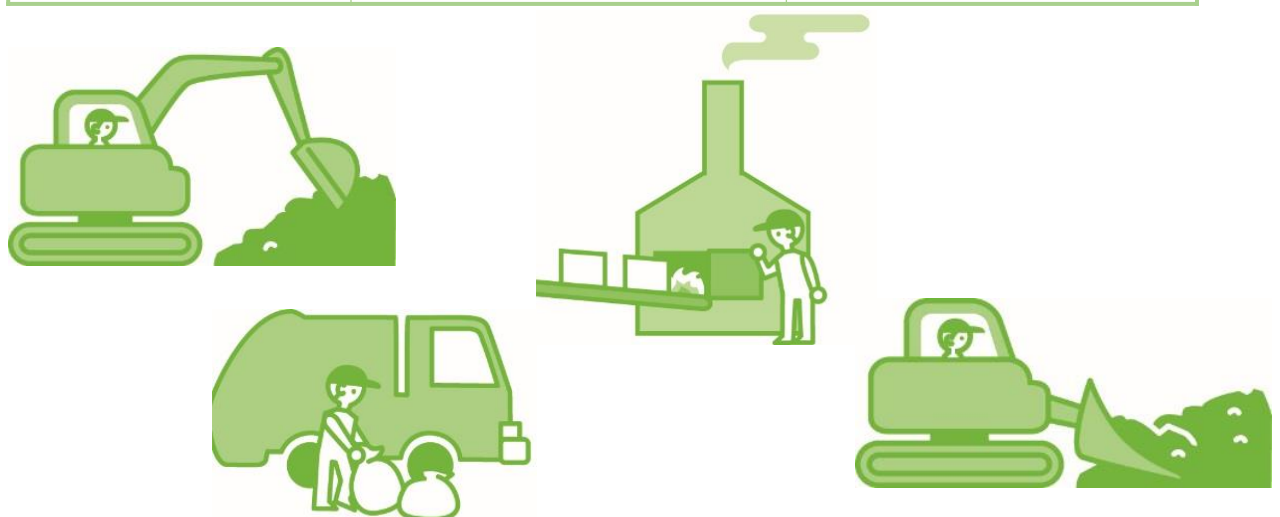
特別管理産業廃棄物処分業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07370004558号	令和11年09月27日	優	令和4年09月28日

施設	処理方法	処理能力	事業所
回転炉床式焼却炉	焼却	6.6t/日	本社工場
ロータリーキルン式 焼却炉	焼却	4.8t/日	本社工場
一軸破碎機	破碎	廃プラ4.4t/日・・・他	本社工場
縦型圧縮梱包器	圧縮	繊維くず4.49t/日・・・他	本社工場
移動式脱水車	移動脱水	50m³/日	本社工場
固化施設	固化	50m³/日	本社工場
天日乾燥施設	天日乾燥	50m³/日	本社工場
連続中和装置	中和	48m³/日	本社工場
安定化処理施設	安定化	4t/日	本社工場
発酵施設	発酵	15m³/日	本社工場
発酵施設	発酵	70t/日	倉橋工場

区分	産業廃棄物収集運搬業	産業廃棄物処分業
燃え殻	○	
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
廃プラスチック類	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
動植物性残渣	○	○
動物系固形不要物	○	○
ゴムくず	○	○
金属くず	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○
鉱さい	○	
がれき類	○	
動物のふん尿	○	
動物の死体	○	
ばいじん	○	
産廃処理物	○	
石綿含有産廃を含む	○	

区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
感染性産業廃棄物	○	○
特定有害産業廃棄物	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
燃え殻	○	○
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
鉱さい	○	○
ばいじん	○	○



収集運搬車両数量等

吸引車（10t/4t）：4台



吸引車は、大風量のブローでタンク内を負圧にし、ホースの先から吸引します。液体物だけでなく、泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。

ダンプ車（10t/3t/2t）：5台



スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱型ダンプ仕様も用意して、あらゆる廃棄物に対応できるようにしています。

ウイング車（8t/4t/2t）：3台



主にドラム缶やフレコンバッグ等、容器に入れられた廃棄物を運搬する車両です。8t車では一度に34本のドラム缶を運搬することができます。

コンテナ車（10t/4t）：8台



お客様のところに専用コンテナを設置し、廃プラスチック類や脱水汚泥等の廃棄物を収集運搬する車両です。有機汚泥には密閉式コンテナも用意しています。

ユニック車（4t）：2台



トラックに取付けられたクレーンを使って、重量物を吊上げて積載する車両です。

パッカー車（2t）：4台

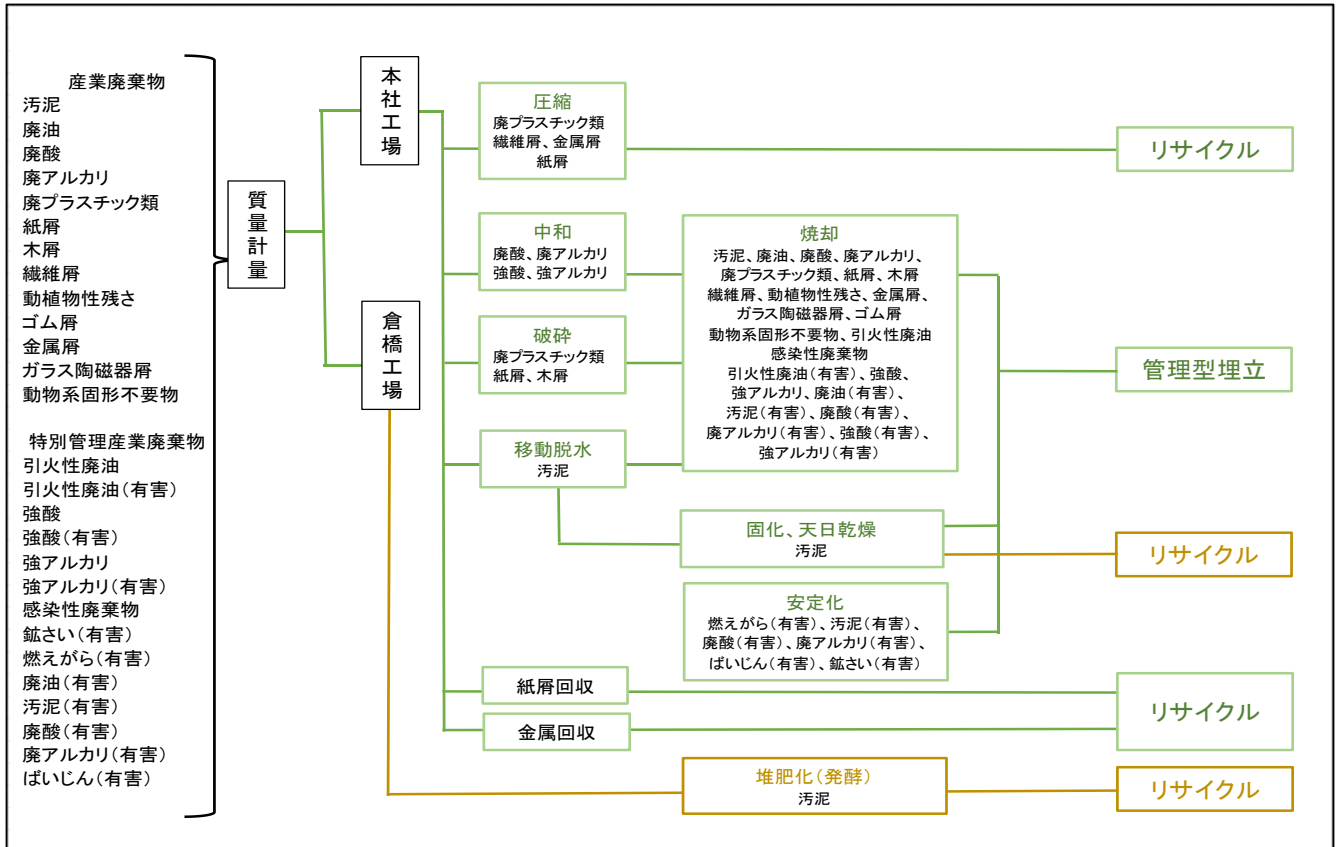
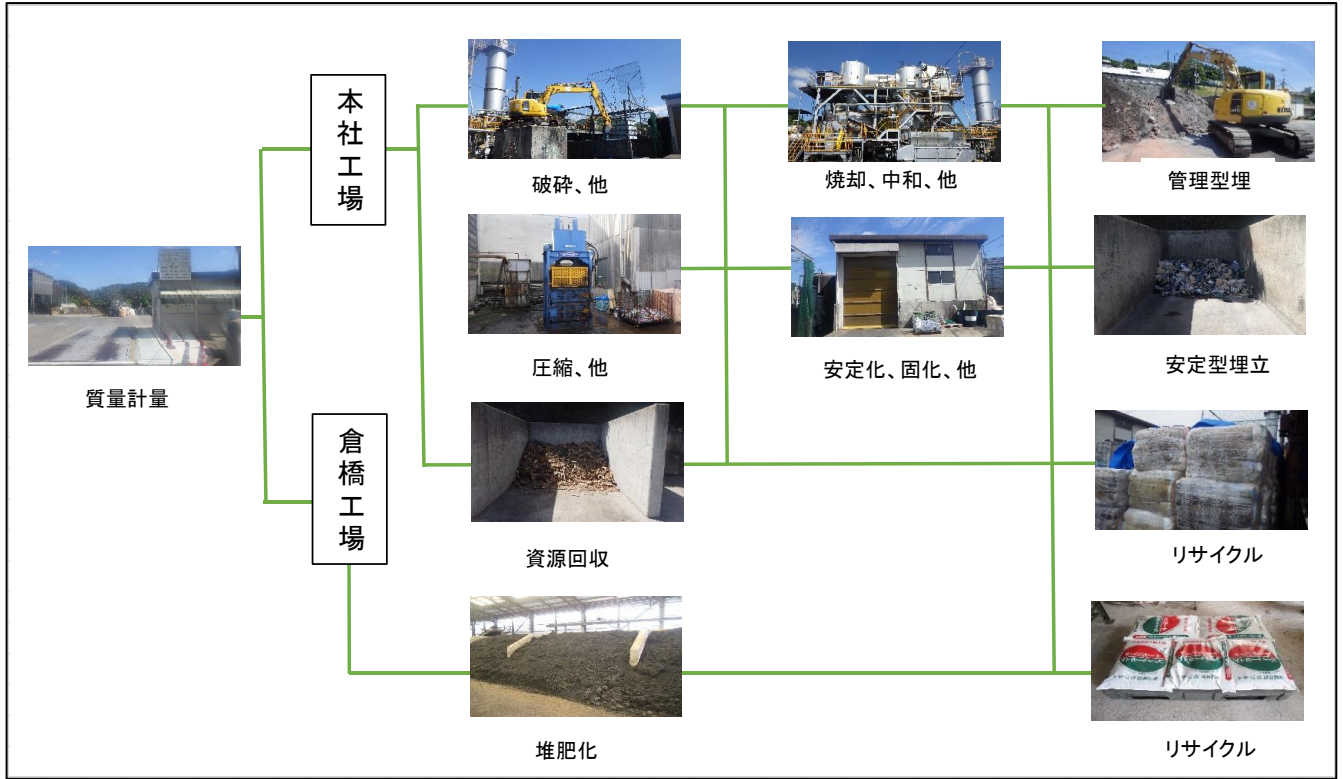
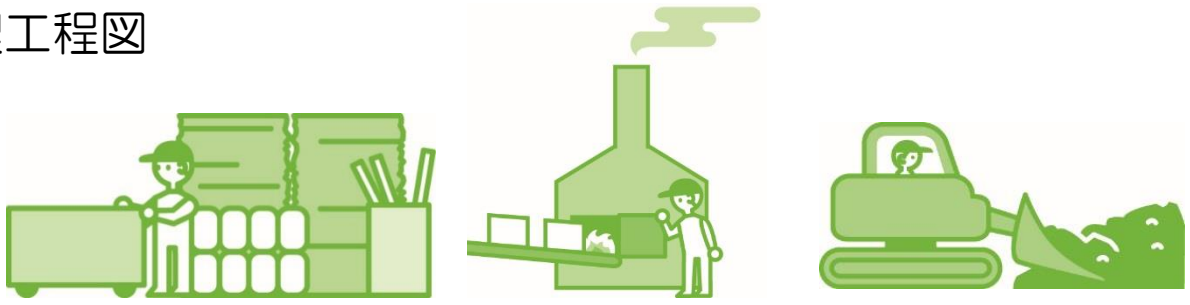


街中でよく見かけるゴミ収集車です。小さな車両ですが、積載できる量は2tと多い車両です。

軽バンなどを合わせると全38台あり、あらゆる廃棄物に対応できるようにラインナップしています。

車種	車番	積載量(kg)	車種	車番	積載量(kg)
大型吸引車	1540	8850	4t水密ダンプ	9796	3650
大型吸引車	1785	7370	3tダンプ	8895	3000
4t吸引車	4707	2900	3tダンプ	4801	3000
4t吸引車	8126	2470	2tダンプ	3425	2000
8tウイング	2838	6800	2tパッカー	8625	2000
4tウイング	3086	2250	2tパッカー	4637	2000
2tパワーゲート	8653	2000	2tパッカー	4528	2000
大型ダンプ	3762	9800	2tパッカー	8342	2000
大型アームロール	2710	10900	4tユニック	3284	2550
4tアームロール	5565	3900	4tユニック	7919	3450
4tアームロール	8156	4000	軽ダンプ	8840	350
4tアームロール	1851	4050	軽ダンプ	4412	350
3tアームロール	1581	3000	軽バン	1169	350
3tアームロール	8859	3000	軽バン	3465	350
3tアームロール	9432	3000	軽バン	621	350
洗浄車	7428	-	軽バン	2030	350
洗浄車	3570	-	軽バン	3813	350
給水車	5019	-	ハイエース	264	1150
			TV車	9003	-

処理工程図



環境関連法規・訴訟

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条例等	要項	主な内容
環境基本法	第8条	・事業活動に伴い生じる公害を防止する
		・事業活動に係る製品が廃棄物となった場合の適正処理の措置
		・事業活動に係る製品が使用、廃棄されることによる環境負荷の低減と再生資源の利用
		・国または地方公共団体の環境保全に関する施策への協力
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条	・廃棄物の排出を抑制し、適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理を行う
		・生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る
		・マニフェストの交付、管理の遵守
水質汚濁防止法及び広島県公害防止条例	第5条	・工場及び事業場から排出される水の排出及び浸透を規制し、生活排水対策を実施する
		・水質の汚濁の防止を図り、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する
		・健康被害が生じた場合の責任を明確にし、被害者の保護を図る
騒音規制法	第5条	・騒音についての必要な規制を行なうとともに、許容限度を定めることにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
振動規制法	第5条	・振動について必要な規制を行うとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
悪臭防止法	第4条	・悪臭について必要な規制を行い、その他悪臭防止対策を推進することにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
大気汚染防止法	第2条	・ばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出等を規制し、有害大気汚染物質対策の実施を推進する
		・自動車排出ガスに係る許容限度を定めること等により国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する
		・健康被害が生じた場合の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図る
ダイオキシン類対策特別措置法	第2条	・ダイオキシン類による環境の汚染防止及びその除去等をするため基準を定め、必要な規制、汚染土壌に係る措置等を定め、国民の健康の保護を図る
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第2条	・事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する
消防法	第17・21条	・国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことで秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
肥料取締法	第4条	・肥料の品質を保全し、その公正な取引と安全な施用を確保するため、規格及び施用基準の公定、登録、検査等を行う。農業生産力の維持増進に寄与する
建設業法	第3条	・建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進する
建設リサイクル法		・特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する
		・登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る
道路運送車両法		・所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図る
毒物及び劇物取締法	第4条	・毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行う
計量法	第10条	・計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保
高圧ガス保安法	第9条	・高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制する
放射線障害防止法		・放射性同位元素の使用、販売、賃貸、廃棄その他の取扱い、発生装置の使用及び放射性汚染物の廃棄その他の取扱いを規制し、これらによる放射線障害を防止する
労働安全衛生法		・労働災害の防止のための危害防止基準の確立
		・責任体制の明確化及び自主的活動の促進
		・職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する
古物営業法		・盗品の売買の防止、速やかな発見等を図るため、必要な規制を行い、犯罪の防止を図り、その被害の迅速な回復をはかる
フロン排出抑制法	第16条	・機器使用環境の維持保全、簡易点検

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反は過去三年間ありません。また、関係当局からの指摘は無く、訴訟もありませんでした。

(1) 施設見学

【施設見学】

- 排出事業者の施設見学を積極的に行っています。56期は28社の施設見学をうけいれました。

【見学者の声】

- 引き続き良好な環境保全に努めていただく様をお願いします。
- 最近豪雨が頻繁にありますので、雨水管理には気を付けて下さい。
- 場内の清掃が行き届いておりびっくりしました。
- 猪やカラス対策もされていて驚きました。
- 見学会が始まった当初より格段に良くなっていますので、今後ともしっかり管理してください。

(2) 健康経営

【ひろしま企業健康宣言】

- 全国健康保険協会広島支部から、健康づくり優良事業所の認定基準最高位5つ星に認定されました。

今後も社員が健康で末永く仕事に従事できるように、会社としてサポートしていきます。



ひろしま企業健康宣言
健康づくり優良事業所

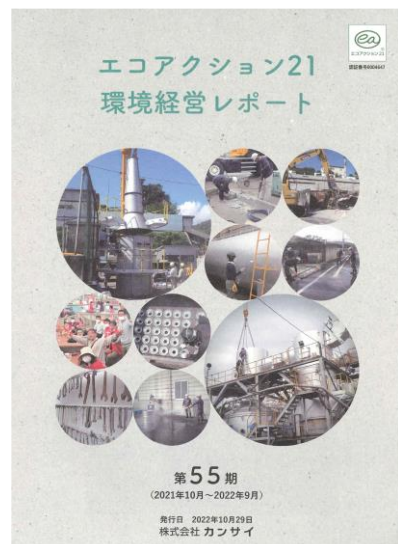


(3) 環境経営レポート

【環境経営レポート】

- エコアクション21の要求事項の一つでもある、環境経営レポートを発行し、ステークホルダーの方々に配布し読んで頂きました。

56期は、338部配布しお客さまとのコミュニケーションツールになりました。



スーパーカイド

【肥料について】

- 倉橋工場では、下水処理場やし尿処理場において生活排水を浄化する際に発生する廃棄物である汚泥を受け入れ、好氣的に発酵処理し、肥料「スーパーカイド」へとリサイクルしています。
- 「スーパーカイド」の特徴としては、葉や茎の生長に欠かせない窒素と、開花・結実、根の伸長に役立つリン酸を豊富に含んでおり、野菜、果樹、稲作、花卉、芝生、植木などに幅広くご使用いただけます。十分に発酵処理していますので、未熟堆肥のような生育障害の心配がなく、元肥にも追肥にも利用できます。農産物だけでなく肥料も地産地消していただけるように、地元の方々へアピールしていきたいと思います。
- 下の写真は、リサイクル肥料カイドを使用して家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる社員たちの花壇や畑の様子です。

肥料お求めはこちらまで・・・

TEL：(082) 941-1641

TEL：(0823) 53-1823

カンサイ総務部
カンサイ倉橋工場

12

つくる責任
つかう責任

12 つくる責任つかう責任

【倉橋工場の取組み】

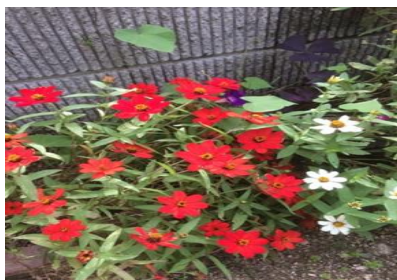
- 倉橋工場では、下水汚泥を発酵させ環境にやさしい堆肥を製造し個人や農園で使用してもらい農作物生産の手助けをしています。



下水汚泥の混合



発酵状態



※仕事をするうえで、「健康経営」をテーマに抱負を掲げ進捗状況を検証し、各自の成長に向けた取り組みをしていきます。
 ※57期も引き続き、環境力道場を開催して、社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取り組みます。
 ※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取り組み	個人の成長と健康経営	数値目標を掲げて取り組み四半期ごとに検証する	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場
	(2) 業務車両・建設工事のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用 管理体制の強化	通年	業務部
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善 管理体制の強化	通年	倉橋工場
	(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部
	(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室
	(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	鳥獣被害防止対策・飛散防止対策	通年	本社工場
	(3) 施設の改善	設備更新の実施 作業環境と効率アップの設備配置の検討	通年	本社工場 倉橋工場
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場
	(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生月の人をお祝いする 永年勤続者の表彰	通年	総務部
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる 家族見学会の企画・実施	年2回 6月	営業部 総務部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
	(6) 福利厚生拡充	社内サークルの運営	通年	実行委員
	(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	環境力道場の開催、随時各講習会	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場 業務部
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進 毎週金曜日の清掃活動	通年	全部署
	(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境活動レポートの発行	11月初旬に56期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

作成日 2023年9月20日

2020年の年明けから世界中を混乱に陥れたコロナ禍の中で、廃棄物処理は医療や介護などと並んで、エッセンシャルワーク（不可欠な仕事）として、めずらしく熱い声援が社会から寄せられました。しかし、コロナ禍が一段落し、地道な日常が戻ってきた中で、株式会社カンサイの社員は、私達が当社の「環境力道場」を通して実感しているように、各々が熱い思いを抱きながら真摯に産業廃棄物処理に取り組んできたことが、この報告書からよく伝わってきます。

また、本年5月、広島で開催されたG7及びG20首脳会議でも明らかにされたように、時代の要請は「脱炭素」、「資源循環」及び「汚染の低減」です。世界中で頻発している異常気象、生物の種や個体数の急減、さらにプラスチックなど人工化学物質による汚染問題の深刻さを考えると、これらへの挑戦は、単に国際社会、国・自治体だけでなく、企業も個人も、それぞれの能力と責任に応じて取り組まなければならない事柄ですが、カンサイがこれらの課題にしっかりと取り組んでいることも、本報告書のどの頁からも伝わってきます。

具体的に見ると、工場や業務、倉橋では燃料使用量を記録して作業工程を見直し、営業は効率的な営業ルートを選定してエリアを集中し、総務は定期的なフィルター掃除を行い、計量室は継続的な薬品管理を行うなど、それぞれの部署が知恵を絞り、工夫して、少しでも燃料・電気・水・化学物質などの使用量を削減し、CO₂削減に努めている様子がよくわかります。

また、スケジュール管理の徹底、記録付け、数値の見える化などで削減目標を明確にし、定期的にミーティングを開催してそれを部署内で共有することで作業の効率化を図っていること、加えて、注意事項なども見える化して情報共有している様子から、以前からの課題だったコミュニケーション不足もかなり解消してきたようで、それが、全事業の効率化と個々のレベルアップにもつながっているように思います。施設の改善についても、自分たちでできることは自分たちで工夫して改善し、資格取得も計画的に進めているほか、本レポートの各コメントや環境力道場での意見交換では、カンサイの次のステップに向けた前向きな発言も聞かれるようになり、とても頼もしく思っています。

今後の課題としては、一つはレポートの考察にあるように、CO₂削減のための取り組みが頭打ちになりつつある点をどう解決していくか、二つ目は部署内のコミュニケーションだけでなく、カンサイ全社のコミュニケーションをさらに進めること、そして三つ目は激動する社会の中で、環境創造総合企業として、カンサイの強みや良さを強化しつつどのような新たなチャレンジができるかという点です。

これらを解決するには、部署内でのコミュニケーションを定着させ、改善にむけた努力と工夫を積み重ねるだけでなく、道場なども活用してカンサイ全体の議論をより深化させ、これまで気づけなかった連携による取り組みを探るとともに、新たなチャレンジについても全員で議論していくことが大切だと思います。そのためには、現状に甘んじることなく、社会や他社の動向などについてもアンテナをより高く張り、それを皆で共有していくこと。併せて、道場で話し合ったカンサイフィロソフィー各項目の具体的な行動を実践していくことが第一歩となるでしょう。

“MYカンパニーからOURカンパニーへ” みんなで、また、一歩前に進みましょう！



2023年11月

環境文明研究所 加藤三郎、藤村コノエ

56期も無事に終わることが出来ました。心より感謝申し上げます。

前期に引き続き設備の更新工事を行ってきましたが、大きな事故や怪我も無く完了できました。57期には、休憩所の改築や作業場の整備を行い、リフレッシュできる環境を整え、快適に作業ができるように進めて参ります。

また、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことで、社内同好会も開催できコミュニケーションも活発になりつつあります。人との関わりの中で、前向きに仕事と向き合い、協力し合える環境を創っていきます。

これからもお客様やお取引先の皆様とのコミュニケーションを大切にして、魅力を感じていただける会社にしていきたいと思ひます。

株式会社 カンサイ

代表取締役

川本 義二

17 編集後記

地球温暖化の影響が深刻になり、毎年肌で感じる事柄が多くなってきています。この夏の異常なまでの暑さや偏った豪雨災害、また、山にどんぐりなどのエサがなく人間の生活圏に出没してしまう熊被害。これらのことは、私たちが生まれる前から現在までの、人間活動によって引き起されたものです。今後もっと深刻になると多くの学者やNPO団体などが警告をしています。しかしながら私たちは、日々の暮らしの中で目先のことに囚われて、未来の子孫に目を向けての行動ができていないように感じます。

ブレーズ・パスカルの名言「人間はひとくきの葦にすぎない。自然のなかで最も弱いものである。だが、それは考える葦である。・・よく考えることを努めよう。ここに道德の原理がある。」この言葉は今生きる私たちにとっての訓辞ではないでしょうか？

カンサイも、カンサイ理念手帳の項目を各々が理解し、日々起きる小さな課題を創意工夫して乗り越え、その経験を積み重ね次世代にバトンを渡せるような会社で全社員で取り組んでいきたいと思ひます。

このレポートを手にとった方が、カンサイの取り組みや環境のことに興味を持って頂けたら幸いです。

環境管理責任者

北川 貴伸

株式会社カンサイは、
環境創造総合企業を目指しています



K Δ N S Δ I

株式会社 カンサイ

住 所 〒731-5102
広島市佐伯区五日市町大字石内
460番地

連 絡 先 TEL:(082)941-1641
FAX:(082)941-1715
E-mail:kansai@ekansai.co.jp

発行責任者 環境管理責任者・北川
エコアクション21事務局・山田